FUKUYAMA IYOO
LIONS CLUB

55th

ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区　1R.3Z

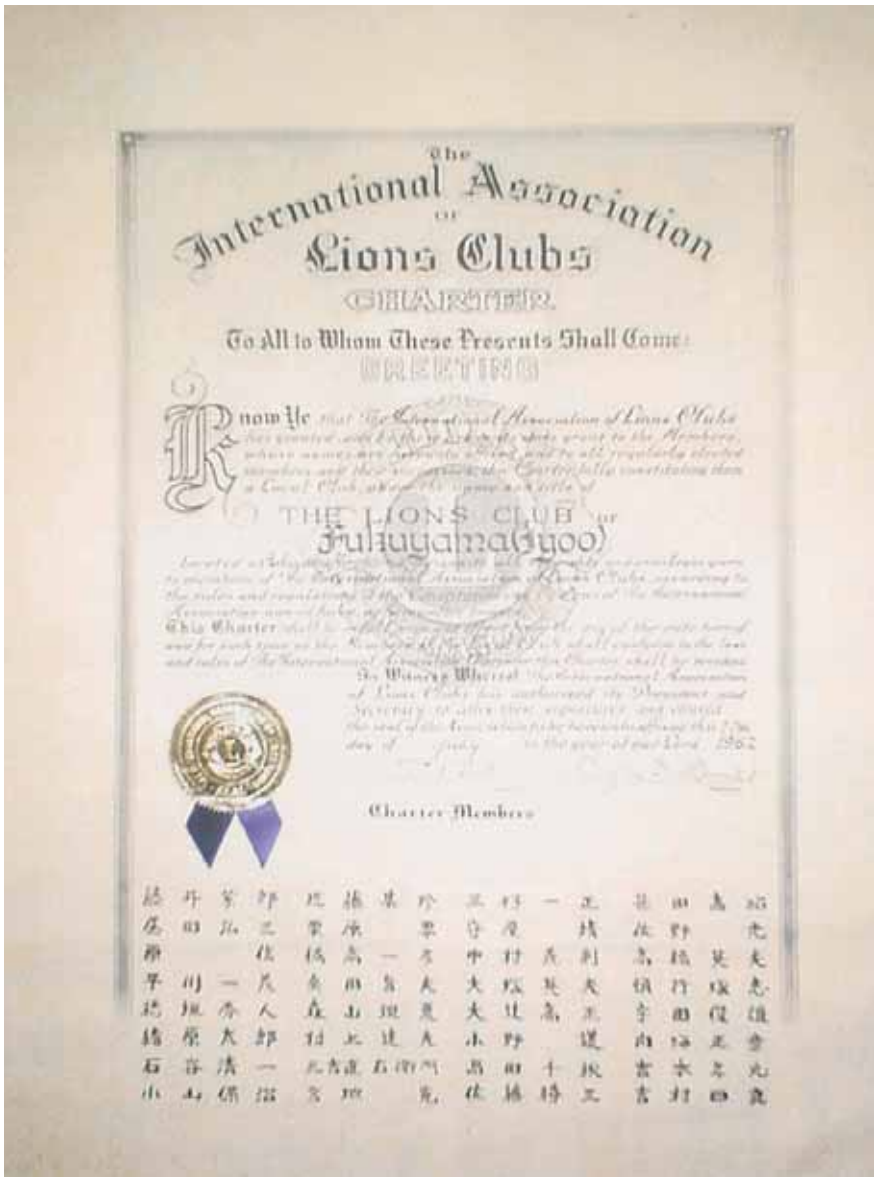
福山葦陽ライオンズクラブ
55周年記念誌

FUKUYAMA IYOO
LIONS CLUB

55th

伝統と革新

～誇りあるクラブへ～


the
International Association
of
Lions Clubs
CHARTER
To All to Whom These Presents Shall Come:
Know Ye
THE LIONS CLUB
of
Fukuyama(Iyoo)
Charter Members

福山葦陽ライオンズクラブ

1962（昭和 37）年の春、福山ライオンズクラブのエクステンションによるラブコールが三吉直右衛門（初代会長）にかけられ､7 人の同士が集結。そして更に仲間を誘い 32 名の結成式となりました。

1962 年 7 月 11 日に全国で 440 番目、336C 地区では 19 番目のライオンズクラブとして誕生。既に結成されていた近隣のクラブへ見学に行くなど旺盛な行動力を示し、名を「葦陽」と冠しました。

同年 12 月 2 日には当時の福山市公会堂にてチャーターナイト式典が挙行され、各地から 800 余名のライオンが祝福にかけつけ、鷹取中学校体育館で懇親会が盛大に開催されました。

チャーターメンバー
三村　敏雄

名称	福山葦陽ライオンズクラブ
地域	336-C 地区　1R.3Z
結成年月日	1962 年（昭和 37 年）7 月 11 日
チャーターナイト	1962 年（昭和 37 年）12 月 2 日
結成順位	国内第 440 番
クラブ番号	024094
チャーターメンバー	32 名
例会日	毎月第 1・3 水曜日 12：15 ～ 13：30
例会場所	福山ニューキャッスルホテル

CN55周年記念　対談

築城400年を迎える福山城について

2017年10月19日
於：福山市市庁舎　応接室

福山市市長　**枝広　直幹**

福山葦陽ライオンズクラブ
2017～2018年度会長　**高田　信吾**

3つの記念事業

福山葦陽ライオンズクラブ会長　高田信吾（以後会長）▶
本日は、枝広市長においてはこの対談に時間をつくっていただいて、誠にありがとうございます。福山葦陽ライオンズクラブ（以後 LC）は本年度創立 55 周年を迎えます。ライオンズ用語では、チャーターナイト 55 周年といいます。その事業の一つとして築城 400 年を迎える福山城をテーマにこれからの福山市について枝広市長と有意義なお話ができればと思います。本日はよろしくお願い致します。

福山市　枝広直幹市長（以後市長）▶
こちらこそよろしくお願いします。
築城 400 年を迎える福山市について、いろいろなお話ができることを楽しみにしています。

会 長▶　本年度は、チャーターナイト 55 周年ということで 3 つの記念事業を計画しました。
1 つ、リム・ふくやまで 9 月 27 日から開催されている一模型福山城と一「福山歴史展」への協賛。
1 つ、桜街道 251 プロジェクトへ協賛。
1 つ、水野勝成公と阿部正弘公の甲冑の複製を福山市に寄贈です。
甲冑の常設は、福山城博物館内ですが、福山駅構内の設置も駅長に確認を取っています。福山市民の方でも、水野勝成公と阿部正弘公の福山との関わりを知らない方が多いと思うので簡単な解説文を一緒に寄贈します。複製なので、実際体に付けることもできます。

市 長▶　それは誠に有難うございます。築城 400 年に向けてのタイムリーな寄贈有難うございます。福山市民の方に福山城築城の経緯が判っていただければ何よりですね。

会 長▶　福山葦陽 LC は、今年 55 周年を迎えるわけですが創立から 2 年後の 1964 年に、先輩たちが福山城跡公園に桜を 200 本寄贈しているんです。
今も、現存している桜の木が、お花見のころには、多くの市民の方をお迎えしていると思います。

市 長▶　素晴らしい事業ですね。市民の多くの方が毎年福山城跡公園で花見をするのを楽しみにされていますね。

2007年の葦陽城映像ライトアップ

会 長▶ 福山葦陽 LC は、今までに多くの奉仕活動をしてきています。一つに、毎年 1 月末の日曜日に開催されるふくやまコーラスフェスティバルは、福山葦陽 LC が共催させてもらっています。昨年は参加団体 37 団体で、当日は皆さんがリーデンローズで、素晴らしい歌声を響かされました。2000 人弱の方々がリーデンローズにお越しいただきました。毎年皆さん楽しみにされています。福山城にかかわる事業は、今から 10 年前の創立 45 周年の記念事業として、葦陽城映像ライトアップと城見茶会を開催しました。その時は、あえて福山城を葦陽城と呼ばせて頂きました。お城を映像動画でライトアップするという事業で、全国初の試みでメディアにも多く取り上げられて 2 万人を超える市民の方がお城を訪れました。天守閣をキャンパスにして映像作家の方の斬新な映像動画を映しだした天守閣に、市民の方々から映像が変わるたびに歓声が聞かれました。

市 長▶ 市民の方に、感動をしてもらえる素晴らしい事業ですね。
現在、福山市でも福山城を午後 10 時までライトアップしています。

会 長▶ 夜、出張から帰ってきたときに福山城がライトアップされていると、福山に帰ってきた安心感がありますよね。福山を、新幹線で通過する人が福山城のライトアップを見て、一度は降りてみたい駅と思われているのではないでしょうか。先ほどの葦陽城ライトアップですが、その後も、毎年映像ライトアップをして 2011 年に、福山商工会議所、福山青年会議所と福山城アートプロジェクト実行委員会を作り、ふくやまアートウォークを開催しました。
それが、福山うずみフェスタ、福山城幸盛ナイト開催につながって、福山の秋のイベントとして定着してきました。現在、福山葦陽 LC は秋のイベントにはクラブとしては参加していませんが一つのイベントを開催してそれが定着して新たなイベントに進化していくきっかけを造り出したのかなと思っています。

市 長▶ 本当に秋の福山のイベントとして定着してきましたね。
福山市では福山駅周辺の賑わい創出を目指していて、2022 年に迎える福山城築城 400 年に向けて、福山城を中心とする駅北側文化ゾーンと駅南側のエリアの一体化を模索していてその一つの試みとして、福山城南側道路を歩行者中心の空間として活用することを考えています。
このたび、福山城南側の市道を、10 月 28 日（土曜日）、29 日（日曜日）の二日間車両通行止めにして、歩行者専用道路とする社会実験を実施して、駅周辺の回遊性創出と歩行者の安全性向上に取り組んでいくことを計画しています。

会 長▶ 駅の出口から一歩出るとそこには高い石垣があって、空に顔を向けて高い石垣を見上げるとその向こうにどんなお城があるのかを見たくなり、石垣を見ながらお城の入り口の階段に向かって歩いていく人たちがいる、そんな情景が頭の中に思い浮かびます。
新幹線ホームに改札口を造って改札口から福山城の筋金門に向って歩道橋を掛けて、「新幹線ホームを出たらそこはお城現代から江戸時代にタイムスリップ」というチャッチフレーズ、「お城の城内にある駅」というキーワードなんかどうですかね（笑）

築城400年に向けての福山城ライトアップ

市 長▶ また、築城 400 年に向けて、美術館がある文化ゾーンのライトアップも計画しています。
それと、城跡公園内の月見櫓、湯殿、伏見御殿のライトアップとお城全体のライトアップを検討しています。

会 長▶ 市民の方々に福山には、こんなにたくさんの素晴らしいものがあることを、お伝えしたいですね。
福山城は 1622 年築城で当初は瀬戸内海と外堀が入川で結ばれて、海から城内に船で出入りできる海城だったと聞いています、福山駅は福山城の城内にある駅なのですよね、いっそのこと福山城駅という駅名にしたらインパクトがあるかもしれないですね。(笑)

市 長▶ 福山市では、築切(つっきり)「運河(入川)を隔てるために築かれた堰」を再現して将来的には石垣遺構を中心とした公園を整備して駅前の再開発や築城 400 年の記念事業として検討しているところです。

会 長▶ 築切が確認されれば、福山城の大きさは、姫路城をしのぐ大きさがあったことになるというのを聞いたことがあります。まさに「何もないとは言わせない!」ですね。福山にはたくさん誇れるものがあるのですよね。
しかし、福山の市民は誇れるものがたくさんあることを知らないし、知っていてもそれを誇れるものと感じていないのが実情ですよね。

福山市民にとっての誇

市 長▶ 私も同じことを感じています。
今の親世代の方々に誇りを持ってもらい、それを子供たちに伝えていってもらう、そのことによって、福山市が活性化していき、住みたい町になるよう行政としても、まず行政の側から職員が福山に誇りを持ちそれを市民の方々に伝えていくために、福山市では、ふくやま未来づくり100人委員会を設置して、幅広い世代の福山市民と福山の未来について話し合っています。
もちろん、その実現に向けて経済界、商店街などを巻き込んでのオール福山に伝え取り組んでもらっています。
また、福山アンバサダーを募集してSNSやブログで福山の魅力を発信してもらっています。
現在149名のアンバサダーの方がいて、フォロワーは86万人です。現在2次募集をかけているところです。

会 長▶ 素晴らしいですね、福山の魅力がたくさんの人に伝わって、伝わることによって福山の魅力が次世代にも伝えたくなる、自信を持った魅力になる、福山市民が福山を誇れるまちとして、自信を持って伝えていきたいですね。
福山葦陽LCは本年度のテーマを「誇」としています。
本日は本当に有意義なお話ができて感謝いたします。
ありがとうございました。

市 長▶ ありがとうございました。

もくじ

テーマとロゴ …… 1
CN55 周年記念　対談 …… 3
目　次 …… 8
歓迎のことば
　福山葦陽ライオンズクラブCN55周年実行委員長　髙田　健司 …… 9
　福山葦陽ライオンズクラブ会長　高田　信吾 …… 10
祝　辞
　福山市長　枝広　直幹 …… 11
　ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区ガバナー　今井　誠則 …… 12
　ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区　1R.RC　山本　富造 …… 13
　ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区　1R.3Z.ZC　青木　勝之 …… 14
　福山ライオンズクラブ会長　藤本　勇次 …… 15
　神戸東灘マリーンライオンズクラブ会長　君島　寿源 …… 16
　ハミルトン・セントラルライオンズクラブ会長　スザンヌ・ヘミング …… 17
　バーデンバーデンライオンズクラブ会長　マーティン・レオフ …… 18
CN55 周年記念式典
　来賓御芳名 …… 20
　記念式典次第 …… 21
　祝賀会 プログラム …… 22
記念事業紹介 …… 24
55 年のあゆみ（各年度紹介） …… 28
　1 ～ 4 年のあゆみ …… 29
　5 ～ 8 年のあゆみ …… 30
　9 ～12 年のあゆみ …… 31
　13 ～16 年のあゆみ …… 32
　17 ～20 年のあゆみ …… 33
　21 ～24 年のあゆみ …… 34
　25～28 年のあゆみ …… 35
　29～32 年のあゆみ …… 36
　33～36 年のあゆみ …… 37
　37～40 年のあゆみ …… 38
　41～44 年のあゆみ …… 39
　45～48 年のあゆみ …… 40
　49～51 年のあゆみ …… 41
　52 年目のあゆみ …… 42
　53 年目のあゆみ …… 44
　54 年目のあゆみ …… 46
　55 年目のあゆみ …… 48
　56 年目の活動 …… 50
歴代地区役員一覧 …… 52
歴代三役一覧 …… 53
神戸東灘マリーンライオンズクラブとの姉妹クラブ提携経過 …… 54
バーデンバーデン・ライオンズクラブとの姉妹縁組提携経過 …… 55
ハミルトン・セントラルライオンズクラブとの姉妹縁組提携経過 …… 58
物故会員 …… 60
会員紹介 …… 61
CN55 周年実行委員会　組織表 …… 68
各部会紹介 …… 69
編集後記 …… 70

歓迎のことば

福山葦陽ライオンズクラブ
チャーターナイト55周年実行委員長
髙田　健司

本日は福山葦陽ライオンズクラブチャーターナイト 55 周年記念式典を開催しましたところ、福山市長枝広直幹様、元国際理事藤井基博様、地区ガバナー今井誠則様をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席を賜りまして誠に有難うございます。また、スポンサークラブ、ブラザークラブの皆様の多数のご出席を頂き、盛大に式典が挙行できますことに会員一同心より厚く御礼を申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会はメルビン・ジョーンズにより 1917 年アメリカ合衆国シカゴで誕生し、今年は丁度 100 周年を迎えました。その組織の規模も世界 212 カ国、クラブ数 47,700 そして会員数約 142 万人とまさに世界最大の社会奉仕団体であります。

さて、我が福山葦陽ライオンズクラブは 1962 年に福山ライオンズクラブをスポンサーとしてチャーターメンバー 32 名で結成しました。爾来 55 年間、福山中央ライオンズクラブ、福山東ライオンズクラブ、福山ニューライオンズクラブをスポンサーし、ドイツバーデンバーデンライオンズクラブ、カナダハミルトンセントラルライオンズクラブ、神戸東灘マリーンライオンズクラブとの姉妹縁組交流を行いました。また、レオクラブ、福山城公園へ桜の植樹、コーラスフェスティバル、ミニバスケットボール大会、熊ヶ峰広場整備、阪神淡路大震災及び東日本大震災支援、バングラディッシュ IYOO 学校建設、福山城ライトアップ、YCE、平和ポスターコンテスト、福山市立大学留学生育成奨学金設立、薬物乱用防止教室など多数のアクティビティを実施してまいりました。

チャーターナイト 55 周年のテーマは「誇」であります。すなわち、現在の少子高齢化による人口減少社会また情報化社会の進展において、今一度、社会奉仕活動の在り様を原点に立ち返って見つめ直し、奉仕する心に姿に誇りを持つことであります。福山城は別名、葦陽城とも呼ばれ 2022 年に築城 400 周年を迎えます。記念事業としまして、水野勝成公及び、阿部正弘公着用の甲冑のレプリカをそれぞれ製作して、福山市に寄贈することとしました。

チャーターナイト 55 周年を機会として、過去の歴史と伝統を振り返るとともに、今後将来にわたってライオンズクラブ活動を継続実施していく上において会員自らが誇りを持ち、社会奉仕活動を通じて地域の皆様とともに歩んで行くことを誓い、会員一同団結してまいる所存であります。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願いしましてご挨拶とさせて頂きます。

CN55周年を迎えて

福山葦陽ライオンズクラブ 会長
髙田　信吾

福山葦陽ライオンズクラブ CN55 周年記念式典を、ご来賓各位をはじめライオンズクラブの役員、そしてスポンサークラブ、ブラザークラブの会員の皆様に多数ご臨席を賜り、挙行できます事にクラブを代表致しまして厚く御礼申し上げます。

福山葦陽ライオンズクラブは、福山ライオンズクラブのスポンサーにより 1962 年 7 月 11 日に全国で 440 番目、336C 地区では 19 番目のライオンズクラブとして誕生致しました。

言うまでもなくボランティアは自由意志に基づく奉仕活動であり、そのイズムの計り知れない価値にはもはや疑いの余地は無く、この現代社会においてライオンズクラブのような奉仕団体無くして社会は機能しないと言っても過言ではないでしょう。改めて全世界に広がるライオンズクラブは素晴らしい団体であると、誇りに感じる次第であります。

しかしながら、時代の大きな流れの中で社会の価値感は激変し、我々の想像を遥かに超える人工知能の時代も間もなく到来すると言われております。ロボットがボランティアを行う日もそう遠くないでしょう。不遜な言い方をお許しいただけるなら、かつての輝かしいライオンズクラブの色彩は、時代が求めるものとかけ離れて来たような気がしてなりません。

僭越ながら CN55 周年はこの認識からスタートし、 テーマを「誇」と致しました。「誇」とは、それ自体を目的とするものではございません。例えばクラブの歴史や伝統、或いはアクティビティを通じて培われた奉仕の精神や会員相互の絆などが、自然と我々の心の中に「誇」という感情を抱かせてくれるのであります。そういう意味に於いて、会員の誰もが今まで以上に誇りに感じられるクラブへ華麗に進化して行こう！という目標を掲げました。幸いにも我がクラブには大切なものは守り、新しい事にチャレンジしていくという精神が脈々と受け継がれております。これからもこの精神を忘れることなく、75 周年、100 周年に向け、会員一同今まで以上に力をあわせ頑張っていく所存でございます。今後とも皆様方の更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

祝　辞

福山市長

枝広　直幹

伝統ある福山葦陽ライオンズクラブが CN55 周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴ライオンズクラブにおかれましては、1962 年（昭和 37 年）の結成以来、崇高な社会奉仕の精神のもと、55 年という長きにわたり、歴代会長をはじめとした会員の皆様のご尽力により、国際交流や青少年育成など地域社会に貢献すべく奉仕活動に取り組んでこられましたことに、心から敬意と感謝を表する次第であります。

本市は、昨年市制施行 100 周年を迎え、新たな 100 年に向けた挑戦をスタートさせております。今年度策定をした第５次福山市総合計画の第１期基本計画に基づき、中心市街地の活性化や歴史・文化等の地域資源の更なる磨き上げ、活力ある産業の創造などに取り組んでいるところであります。人口減少社会においても、子どもから高齢者まで、誰もが魅力を感じ、安心して暮らせる未来を描けるよう、「活力と魅力に満ちた輝くまち福山」の実現に向けてスピード感を持って取り組んでまいります。

貴ライオンズクラブにおかれましても、グリーンライン熊ヶ峰広場の清掃活動や国際平和ポスターコンテストへの参加、福山市立大学留学生支援事業などを通じ、本市の文化振興・住民福祉の向上に多大なるご貢献をいただいております。今後とも、これまで培ってこられました活動の成果を十分に発揮され、引き続き、地域社会へ積極的なご貢献をいただきますことを期待いたしております。

終わりに、福山葦陽ライオンズクラブが創立 55 周年を契機とされ、今後益々ご発展されますことと、会員の皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　辞

ライオンズクラブ国際協会
336-C地区ガバナー
今井　誠則

福山葦陽ライオンズクラブにおかれましては、この度結成 55 周年の節目を迎えられました事衷心よりお慶びを申し上げます。

メルビン･ジョーンズ氏がシカゴでライオンズクラブを結成して、100 周年の年でもございます。

国際協会が 100 周年を迎えた記念すべき年に、貴クラブが 55 周年を迎えられるこの周年行事は、国際協会と共に永久に続く訳でご同慶の至りです。

55 年という永く輝かしい歴史を築いて来られました歴代会長をはじめ、会員皆様方のご努力とご苦労に対しまして、改めて感謝と深甚なる敬意を表します。

100 周年を記念して原点に戻る意味でも、ナレシュ・アガワル国際協会会長のスローガンは「We Serve」のみとされて、このスローガンは国際協会会長スローガンとして今後 3 年間続けられるそうです。

私のガバナースローガンは「手のひらを あわせて奉仕 100 周年」とさせていただき、感謝しながら We Serve ということです。

そしてそれは見返りを求めない無償の奉仕ですから、人生もそうですが、楽しみながら実行しなければなりません。

会員皆様が心をひとつにし、時流に即応した改革・改善を実行し、次代を見据えたクラブ運営の実践が、クラブの将来への発展とライオニズムの高揚へと繋がって参るものと信じます。

この 20 年間は我が国の経済は失われた 20 年といわれ、会員の減少に歯止めが掛からない状況の中、貴クラブは設立時 32 名の会員数を現在 44 名と維持しておられます。会長スローガンの「伝統と革新」～誇りあるクラブへ～を基に、次代を担う青少年健全育成を願う活動と共に、国際交流、社会環境奉仕等地域に密着した奉仕の数々を重ねて来られました。

伝統有る貴クラブ会員の皆様方が誇りを胸に、深い奉仕の精神のもと健全なクラブ運営をはかり、共に支え合う豊かな地域社会と平和な社会の実現に向けて、日々充実した奉仕活動を継続して行かれる為にも、絶対に必要な事は若い会員の増強です。

国際協会 100 周年のテーマは、「Where there's a need，THERE'S A LION」であります。

ライオンズが新たな世紀を迎え、私達が時代のニーズに応えて進化を遂げ、新しいプログラムに取り組む事になったとしても、この奉仕の姿勢は変わりません。

貴クラブがますます地域に定着され、地域から愛され、尊敬されるクラブとして発展される事を祈念申し上げまして、祝辞とさせていただきます。

祝　辞

ライオンズクラブ国際協会
336-C地区　1R.RC
山本　富造

今日の佳き日に、福山葦陽ライオンズクラブ CN55 周年という記念すべき日をお迎えになり、心からお祝い申し上げます。

福山葦陽ライオンズクラブは、1962 年 7 月 11 日、福山ライオンズクラブのスポンサーにより全国で 440 番目、336C 地区内 19 番目のクラブとして誕生されて以来、歴代会長・幹事を中心に、永年にわたり縦続して地域に密着した奉仕活動、国際交流を実践されましたことに深甚なる敬意を表します。

国際交流では、1970 年ドイツ・バーデンバーデンライオンズクラブ、1977 年カナダ・ハミルトン セントラルライオンズクラブとの姉妹提携、また国内でも 2012 年神戸東灘マリーンとの姉妹提携、エクステンションでは 1967 年福山中央ライオンズクラブ、1976 年福山東ライオンズクラブ、1985 年福山ニューライオンズクラブをそれぞれスポンサーされライオニズムの進展に尽くされた功績は誠に多大であり、他クラブの模範となるところです。

多様化する社会の中ではありますが、輝かしい歴史と伝統をもとに、さらに地域に密着した奉仕活動を充実させて頂きますようお願い申し上げます。

この 55 周年の記念すべき日を契機とされ、福山葦陽ライオンズクラブの益々のご発展と会員皆様のご健康とご多幸をお祈りして、お祝いの詞といたします。

祝　辞

ライオンズクラブ国際協会
336-C地区　1R.3Z.ZC
青木　勝之

福山葦陽ライオンズクラブの皆様、CN55 周年誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

福山ライオンズクラブのスポンサーにより、1962 年 7 月に 32 名で結成され、日本で 440 番目として、歴史があり、先人たちまた先輩会員の結晶ではないでしょうか。心より敬意を表するものでございます。

福山葦陽ライオンズクラブの特徴は〝同腹一心〟会員の相互理解と友愛の精神を継承され、国際交流・青少年健全育成・社会環境福祉の三本柱を軸として奉仕活動を行っておられます。

アクティビティーで、薬物乱用防止教室・ミニバスケットボール大会の主催、コーラスフェスティバルの協賛、大学留学生支援・献血活動・国際平和ポスター他、記念事業としては、元福山城主（水野勝成公･阿部正弘公）甲冑レプリカを福山市へ寄贈され、地域に密着した奉仕活動を重ねて来られました。

55 周年記念を迎えられるまでの過程において、地域社会振興・文化・街づくりなどへの積極的な取り組み、情熱を傾けて、今日まで数限りなく多くの奉仕活動を継続されて来られました事に敬意を表すものです。55 周年を節目としてさらなる飛躍を願っています。

福山葦陽ライオンズクラブの皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞

スポンサークラブ
336-C地区　1R.1Z
福山ライオンズクラブ会長
藤本　勇次

この度は、福山葦陽ライオンズクラブ結成 55 周年を迎えられましたこと誠におめでとうございます。福山ライオンズクラブ会員を代表して心からお祝い申し上げます。

私ども福山ライオンズクラブは、1962 年、貴クラブの結成をスポンサーさせていただきました。それ以来 55 年にわたり貴クラブは、奉仕の精神に則り、国際交流・青少年健全育成・社会環境奉仕の三本の柱を軸とされ奉仕活動を行ってこられ、地域の皆様に愛され続けられてこられました。特にアクティビティでは、薬物乱用防止教室の多くの開催、大規模なコーラスフェスティバル事業への協賛、また国際平和ポスターコンテストへの沢山の子供たちの参加、そして何より大変な留学生支援事業に会員の皆様の労を惜しまぬ社会奉仕活動には心より敬意を表する次第であります。

そして、同時にそのような多岐にわたる活動をされてきた貴クラブをスポンサーできたことに大きな誇りと喜びを感じております。

福山葦陽ライオンズクラブにおかれましては、結成以来「同腹一心」の合言葉のもと、会員の相互理解と友愛の精神が堅固に継承されてきたともお聞きいたしております。この 55 周年を次の 5 年、10 年へとの更なる飛躍をされんことを心より期待し、貴クラブの益々のご発展、ご活躍、会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げお祝いの詞とさせていただきます。

祝　辞

姉妹クラブ
335-A地区　1R.2Z
神戸東灘マリーンライオンズクラブ会長
君島　寿源

本日、福山葦陽ライオンズクラブ結成 55 周年記念式典を挙行されますことに、神戸東灘マリーンライオンズクラブを代表して、心よりお慶びとお祝いを申し上げます。

この 55 年間、常にライオニズムの精神の基、その理念の実現のため会員相互が結束し、今日の確固たる素晴らしい基盤を築いて来られました。これも偏に歴代会長をはじめ、役員の皆様のご尽力と会員の努力によるものであります。また、地域に密着した社会環境奉仕や、青少年健全育成事業など、多方面にわたるアクティビティを長年続けてこられ、海外の欧米２カ国のクラブとの姉妹提携は、バラの花が取り持つ縁とも伺い、何とも芳しい国際交流も活発にされています。心より敬意を表する次第でございます。

貴クラブとのご縁は阪神淡路大震災の際に、ご支援を頂きましたことが始まりでした。友好クラブ 15 年を経て、5 年前には姉妹提携を結ぶこととなり、以後、例会訪問やゴルフ同好会などの友好を続けてきました。これからもお互いに切磋琢磨し、有意義且つ、楽しいライオンズライフを重ねて参りたいと思います。

最後になりましたが、これからの 60 年、70 年と輝かしい年輪を刻み続けられ、一層のご繁栄と会員皆様のご多幸をお祈り申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞

高田信吾会長、そして福山葦陽ライオンズクラブの皆様へ

スザンヌ・ヘミング会長、並びにハミルトン・セントラルライオンズクラブの会員一同より貴クラブの創立 55 周年を、心よりお慶び申し上げます。
貴クラブの素晴らしい歴史の中で、この度の周年記念は、まさに一つの節目です。
貴クラブが地域社会で継続されている活動は、これまで 55 年間の奉仕で手を差し伸べられてきた全ての方にとって、素晴らしい財産となってきたに違いありません。今後も長年にわたって続けて行かれることを、(姉妹クラブである) 私たちは祈念しております。
現在、私達のクラブは、2020 年の 7 月 19 日の創立 100 周年の準備をしているところです。
私がメンバーであるダンダスバレリーゴルフアンドカーリングクラブに、その開催地 (祝賀会場) を確保しております。
また、ライオンインターナショナル e- クラブハウスのウェブサイトを立ち上げる手続きにも入っています。
記念日が近づくにつれて、私たちのサイトに詳細が記載される予定です。
(www.e-clubhouse.org/sites/hamiltoncentral)
繰り返しになりますが、(貴クラブ 55 周年のニュースは) 本当に素晴らしい。
これからも引き続き、連絡を取り続けていきましょう。
みなさん、健康に気を付けて、そして、(共に) ライオンズの活動を続けていきましょう。
真心をこめて!

ハミルトン・セントラルライオンズクラブ
スザンヌ・ヘミング会長

Greetings to President Shingo Takata
And Members of Fukuyama Iyoo Lions Club.

From President Suzanne Heming and Members of Lions Club of Hamilton Central.
Congratulations on your 55th Anniversary.
This is truly a milestone in your wonderful clubs history. Your on going work in your community has been a great asset to all you have assisted in the last 55 years of service. We hope you will continue for many years to come.
Our club is preparing for our 100th Anniversary on Sunday, July 19th, 2020.
We have secured our venue site at the Dundas Valley Golf and Curling Club of which I am a member.
We are also in the process of activating a website on Lion Internationals e-clubhouse. As the Anniversary date becomes closer more details will be posted on our site which we have chosen to us.
www.e-clubhouse.org/sites/hamiltoncentral
Again, it is wonderful to hear from you and we will keep in touch.
Good Health to All of You and continued in Lionism.
Sincerely,

Lion President Suzanne Heming
and the Lions Club of Hamilton Central

LIONS CLUB
Baden-Baden
DER PRÄSIDENT

Martin Leoff
Präsident 17/18

Krippenhof 22
76530 Baden-Baden
Tel.: 07221 392 468
Fax: 07221 302 866
Email: martin@mgvleoff.de

An die
Mitglieder des
LIONS Club Fukuyama Iyoo
福山葦陽ライオンズクラブの皆様

Baden-Baden, den 9. Oktober 2017

高田信吾会長様、
福山葦陽ライオンズの親愛なる皆様、

ライオンズクラブ・バーデンバーデンのすべてのメンバーを代表して創立55周年記念のお祝いのご挨拶を出来ることは、私の大きな喜びと光栄です。

46年来、私たちは、親善関係で結びついており、その間会員個人レベルで深い親交も誕生いたしました。今年の高田信吾会長のスローガンは、あなたのクラブの「伝統と革新」の価値を強調しています。伝統と革新は密接に繋がっています。英国の作家、トーマス・モルス（Thomas Morus）は、このように申しました。「伝統は継続的な革新であり、それは灰を保持することではなく、炎を受け継ぐことである。」

ライオンズのモットー「We serve」は、私共ライオンズ会員が伝え継ぎたい炎であります。過去55年間に、寄付や寄付の形で無数の貧しい人々や団体へ援助の手を差し伸べ、炎を受け継いでこられたと深く信じています。半世紀以上にわたり、皆様は社会的結束を果たして来られました。いつでも素早く非官僚的に、助けが必要な場所にいつでも助けの手を差し伸べられます。

福山地域での皆様の寛大な支援活動を称え、そして皆様の取り組まれるプロジェクト、ライオンズ青少年交換プログラムの一環としての「Japan Student Service」
支援を高く評価いたします。福山市立大学留学生へ奨学金を授与することによって、皆様は若者を奨励し、地元大学をサポートされています。

皆様のクラブのライオンズ活動へ心から感謝し、我々のミッションステートメント「We serve」へ沿って、今後もご健闘を祈っております。

Martin Leoff
Präsident 17/18
Lions Club Baden-Baden

LIONS CLUB
Baden-Baden
DER PRÄSIDENT

Martin Leoff
Präsident 17/18

Krippenhof 22
76530 Baden-Baden
Tel.: 07221 392 468
Fax: 07221 302 866
Email: martin@mgvleoff.de

An die
Mitglieder des
LIONS Club Fukuyama Iyoo

Baden-Baden, den 9. Oktober 2017

Lieber Präsident Shingo Takada,
Liebe Lionsfreunde in Fukuyama,

Es ist mir eine ganz besondere Freude und Ehre, Ihnen im Namen aller Mitglieder des Lions Club Baden-Baden zum 55. Charterjubiläum gratulieren zu dürfen.
Seit 46 Jahren sind wir durch unsere Jumelage miteinander verbunden, daraus haben sich auch einige enge persönliche Freundschaften ergeben.

Der Slogan Ihres diesjährigen Vorsitzenden Shingo Takada hebt die Werte "Tradition und Innovation" für Ihren Club besonders hervor. Beide sind untrennbar miteinander verbunden. Der englische Schriftsteller Thomas Morus hat es einmal so ausgedrückt: „Tradition ist fortwährende Innovation. Sie ist nicht das Halten der Asche, sondern das Weitergeben der Flamme."

Das Lions Motto „We serve" ist die Flamme, die wir Lions entzünden und weitergeben wollen. Ich bin fest davon überzeugt, dass auch Sie in den letzten 55 Jahren bei unzähligen bedürftigen Menschen und Organisationen eine Flamme entfacht haben, wenn Sie Ihre Hilfen in Form von Sach- oder Geldspenden übergaben oder durch aktives Anpacken unterstützten. Seit über einem halben Jahrhundert stehen Sie nun im Dienst am sozialen Miteinander, immer bereit, schnell und unbürokratisch zu helfen, wo Hilfe gerade gebraucht wird.

Herausheben möchte ich Ihre großzügige Hilfe in der Region Fukuyama, aber auch Ihr Großprojekt zur Unterstützung der Organisation „Japan Student Services" im Rahmen des Lions Youth Exchange Programms. Durch die Vergabe eines Stipendiums an der Universität von Fukuyama City an einen internationalen Studenten fördern Sie junge Menschen und unterstützen Ihre angesehene Universität.

Ich danke Ihnen allen von ganzen Herzen für Ihre vorbildliche lionistische Arbeit und wünsche dem Club und seinen Mitgliedern noch viele weitere erfolgreiche Jahre im Sinne unseres Leitspruchs „We serve".

Martin Leoff
Präsident 17/18
Lions Club Baden-Baden

CN55周年記念式典　来賓御芳名

一般

福山市長	枝広　直幹 様
福山市立大学学長	田丸　敏高 様
ふくやま芸術文化ホールリーデンローズ館長	溝入　敬三 様
福山城博物館館長	鐘尾　光世 様
福山ミニバスケットボール連盟副会長	中井　徳昭 様

ライオンズクラブ関係　（敬称省略）

336-C 地区特別顧問（元国際理事）	藤井　基博（福山東）
336-C 地区名誉顧問会議長（LCIF ライオンズクエスト諮問委員）	安田　克樹（竹原）
336-C 地区ガバナー	今井　誠則（広島紅葉）
336-C 地区名誉顧問（元 336 複合地区協議会議長）	寺越　愼一（広島平和）
336-C 地区第一副地区ガバナー	長﨑孝太郎（広島フェニックス）
336-C 地区名誉顧問（元地区ガバナー）	藤原　寿雄（尾道）
336-C 地区名誉顧問（元地区ガバナー）	福永　栄一（広島ニュー）
336-C 地区名誉顧問（元地区ガバナー）	濱田　富雄（福山）
336-C 地区名誉顧問（元地区ガバナー）	片岡　文彰（尾道）
336-C 地区名誉顧問（元地区ガバナー）	加用　雅愛（広島紅葉）
336-C 地区名誉顧問（元地区ガバナー）	橘髙　　馨（府中中央）
336-C 地区キャビネット幹事	藤原　吉元（広島紅葉）
336 複合地区 IT 特別委員会委員	池原　　堅（福山久松）
336-C 地区 GMT コーディネーター	占部　　裕（福山ピース）
336-C 地区　1R.RC	山本　富造（府中）
336-C 地区　1R.1Z.ZC	三島　英揮（福山東）
336-C 地区　1R.2Z.ZC	宮野　元壮（神石帝釈峡）
336-C 地区　1R.3Z.ZC	青木　勝之（福山新市）
336-C 地区 IT 推進プロジェクトリーダー	島田　清豪（福山松永）
336-C 地区大会参加・平和・アラート委員長	徳毛　直文（福山北）
336-C 地区　1R.FWT・リジョンコーディネーター	東坂　由美（福山中央）
336-C 地区　1R 地区会則・IT・MC・ライオンズ情報委員	三上　人士（神石帝釈峡）
336-C 地区　1R 地区 LCIF・ライオンズクエスト・青少年健全育成委員	一色　浩之（福山新市）
336-C 地区　1R 地区献血・献眼・献腎・薬物乱用防止・環境保全・保健福祉委員	平岡　義正（福山ニュー）
336-C 地区　1R 地区大会参加・平和・アラート委員	安田　崇広（福山東）
335-A 地区　1R.2Z 神戸東灘マリーン LC 会長（姉妹クラブ）	君島　寿源（神戸東灘マリーン）
336-C 地区　1R.1Z 福山 LC 会長（スポンサークラブ）	藤本　勇次（福山）
336-C 地区　1R.3Z 福山中央 LC 会長（エクステンションクラブ）	池田　鴻次（福山中央）
336-C 地区　1R.1Z 福山東 LC 会長（エクステンションクラブ）	松葉　成生（福山東）
336-C 地区　1R.1Z 福山ニュー LC 会長（エクステンションクラブ）	伊場　弘和（福山ニュー）

CN55周年　記念式典次第

日　時：2017年12月9日（土）　17：00 ～ 18：00
場　所：福山ニューキャッスルホテル3階　光耀の間

司　会 …… クラブ幹事　瀬川　尚秀
アシスタント …… 渡辺真由美

1	開会ゴング並びに開会宣言	会長	高田　信吾
2	国旗並びにライオンズ旗に敬礼		
3	国歌独唱		藤井　美雪
4	ライオンズクラブの歌斉唱		
5	物故会員並びに献眼・献腎提供者に黙祷		
6	来賓の紹介		
7	歓迎のことば	大会委員長	髙田　健司
8	会長あいさつ	会長	高田　信吾
9	スポンサークラブへの感謝状並びに記念品贈呈	会長	高田　信吾
10	スポンサークラブ会長挨拶	福山ライオンズクラブ会長	藤本　勇次
11	CN55周年記念事業発表	記念事業部会長	島田　斉
12	記念事業の目録贈呈	会長	高田　信吾
13	感謝状拝受	福山市長	枝広　直幹 様
14	来賓祝辞	福山市長	枝広　直幹 様
		336-C地区　地区ガバナー	今井　誠則
		神戸東灘マリーンライオンズクラブ会長	君島　寿源
15	チャーターメンバー紹介並びに感謝状贈呈	会長	高田　信吾
			三村　敏雄
16	謝辞	大会副委員長	吉川　通泰
17	閉会宣言並びに閉会ゴング	会長	高田　信吾

CN55周年記念祝賀会 プログラム

日　時：2017年12月9日(土)　18：10～20：00

場　所：福山ニューキャッスルホテル　光耀の間

司　会 …… 懇親部会　廣川　雅満

アシスタント …… 渡辺真由美

清　興(歌唱)	声楽家	藤井　美雪
開会のことば	第一副会長	箕嶋　陽一
乾　杯	336-C 地区特別顧問(元国際理事)	藤井　基博
トークショー	㈱中国放送アナウンサー	横山　雄二
また会う日まで		
ライオンズローア	336-C 地区　1R.3Z.ZC	青木　勝之
閉会のことば	第二副会長	柏原　　弘

清　興

声楽家　**藤井（ふじい）　美雪（みゆき）**

大阪芸術大学演奏学科声楽科卒。
宗教曲からオペラまで、深い声と安定感、演技力ともに高く評価されている。
昨今は現代曲との関わりも多く国内外で演奏。
本年 8 月には、ベルリン、ハノーファーにてソリストを務めた。
現代音楽オペラ「班女」は 2018 年 1 月に広島で再演予定。
神奈川フィル 300th. 記念 マーラー「復活」はフォンテックより CD がリリースされている。
霧島国際音楽祭奨励賞 3 年連続受賞、F･ラボー声楽コンクール 3 位、カタラーニ及び G.L. ヴォルピ ディプロマ受賞、第 11 回エネルギア音楽賞受賞。
エリザベト音楽大学声楽科非常勤講師。

トークショー

㈱中国放送アナウンサー　**横山（よこやま）　雄二（ゆうじ）**

1967 年 3 月 29 日生まれ。（50 歳）宮崎県宮崎市出身。
1989 年　㈱中国放送にアナウンサーとして入社。
テレビやラジオのバラエティ番組から、映画監督・俳優・歌手活動・作詞・俳句・レーサー・コラムの執筆など、多彩なジャンルで活躍。
日経エンタテインメントが「日本で一番勢いのあるローカル番組」と評した深夜番組「KEN-JIN」では有吉弘行・劇団ひとりとバンドを結成。
TBS 系全国ネット「うたばん」に歌手として出演するなど、数々の話題を提供。
吉川晃司のアルバム曲「Fame & Money」の作詞も行う。
2011 年 4 月から毎月、東日本大震災復興支援ライブ「ヨコヤマ☆ナイト」を開催。
現在までに宮城県石巻市に 1600 万円余りの義援金を贈る。
2015 年には、放送文化の向上に貢献した団体や個人を表彰する放送界のアカデミー賞とも言われる「第 52 回ギャラクシー賞」を受賞。
主演映画「ラジオの恋」はアメリカのシネマベルデ映画祭で観客賞を受賞。
監督作品「浮気なストリッパー」では、ミニシアターの観客動員記録を塗り替えるヒットを飛ばす。
著書には「横山の流儀」「別冊／天才！ヨコヤマ」「生涯不良」などがある。
現在、みやざき大使、石巻観光大使を務める。

FUKUYAMA IYOO
LIONS CLUB
55th

55周年記念事業

模型福山城と
「福山歴史展」協賛

グリーンライン
「桜街道251プロジェクト」協賛

福山城築城 400 年記念事業協賛
水野勝成公所用甲冑 複製寄贈
阿部正弘公所用甲冑 複製寄贈

模型福山城と「福山歴史展」協賛

枝広福山市長へ模型福山城を贈呈

朝日新聞より

福山葦陽ライオンズクラブは、より多くの市民が福山城を再認識し、5 年後の 2022 年に築城 400 年の祝賀を盛大に迎えることができるようにすることを主目的として行われる本事業に、賛同し協賛致しました。本事業は福山城と福山の歴史を通じて、福山市民に CN55 周年テーマの「誇」を、まさに醸成する事業です。歴史展は、「ふくやま歴史館」（リム・ふくやま 2 階）で開催され、福山葦陽ライオンズクラブのメンバー参加の元、盛大に開催されました。

展覧会初日（2017 年 9 月 27 日）の寄贈式典では、福山城歴史研究会（製作：涌井裕道氏）から福山城の 60 分の 1 の模型が市に寄贈されました。寄贈式典には、枝広福山市長も駆けつけてお礼の挨拶をされ、多くの市民が熱心に模型と展示写真などの資料を見学しました。

グリーンライン「桜街道２５１プロジェクト」協賛

福山葦陽ライオンズクラブは、福山県道 251 号線（愛称：グリーンライン）の美化活動にも長年取り組んできました。

年に 3 ～ 4 回の熊ヶ峰広場の草刈り・清掃活動を中心に、グリーンラインを愛する会と連携をしています。

「桜街道 251 プロジェクト」によって、この沿線に千本の桜を植樹し、この沿線が春には桜並木の名所となって、人々で賑わうことを楽しみにしています。

福山城築城400年記念事業協賛
水野勝成公所用甲冑　複製寄贈

水野勝成公所用　革包茶糸威二枚胴具足（かわづつみちゃいとおどし に まいどう ぐそく）

水野勝成公は徳川幕府誕生の時期において親藩 譜代切っての勇将として名を馳せたが、福山に入府後は初代藩主として福山城を築いただけでなく、当時葦の原であった福山平野を 10 万石に相応しい城下町へと変貌させた福山の開祖である。

又、江戸神田上水などに続いて全国 5 番目となる上水道設備を整備する等、干拓・開墾事業・治水工事と領内の開拓に尽くし、更に戦国時代以来荒らされていた神社仏閣の修理、再建にも力を尽くし、備後一の宮、草戸明王院の文化的な建築物復興の恩人である。

1579 年の高天神城攻めで初陣を果たすと、同年の第二次高天神城攻めで 16 歳ながら首級を挙げて織田信長から感状を与えられ、その後も「天正壬午の乱」や「小牧・長久手の戦い」で大活躍。鬼武蔵として恐れられた森長可を勝成配下の者が討ち取ったり、徳川家内での武勇は井伊直政と並び称された。

父・忠重の怒りを買って家を飛び出した後は、仙石秀久や豊臣秀吉、佐々成政、立花宗茂、黒田官兵衛、小西行長など名だたる武将のもとで全国を渡り歩き、九州での合戦にも参加している。

1651 年福山で没。享年 88 歳だった。

現在の水野家御当主は 20 代目 水野勝之氏で、福山城築城 400 年事業推進企画委員会相談役を務められている。

福山城築城400年記念事業協賛
阿部正弘公所用甲冑　複製寄贈

阿部正弘公所用　紺糸菱綴五枚胴具足（こんいとひしとじごまいどうぐそく）

阿部正弘公は嘉永 6 年（1853 年）6 月のペリーの浦賀来航、翌安政元年（1854 年）3 月の日米和親条約の締結にいたる開国問題を老中首座として指揮した。正弘公は安政 4 年（1857 年）まで老中の座にあって、英・露・蘭の三か国との和親条約、下田条約の締結を行い、国政の難局の最高責任者として、欧米の列強からの植民地化を防ぎつつ開国に踏み切った。

藩治では世界の大勢に通じ、文武の道を極め、人材育成の必要を考えて藩校誠之館を創るなどしたが、若くから国政の要職に在ったため福山に帰藩したのは僅か一度であった。

正弘公は文政 2 年（1819 年）、前々藩主 5 代阿部正精の 6 男として江戸藩邸で生まれた。
10 歳のころより柴山敬蔵や門田朴斎らに儒学を学び、馬術・槍術も修練し心身を鍛えた。
天保7年（1836 年）18 歳のとき兄の第 6 代阿部正寧の養嗣子となり、この年福山 10 万石の藩主となった。
奏者番、寺社奉行兼任、そして天保 14 年（1843 年）には 25 歳の若さで老中に抜擢され、翌弘化元年江戸城本丸造営総奉行を命じられ、弘化 2 年（1845 年）に老中首座となり、幕政を主導する立場となった。

1857 年 39 歳の若さで病没した。

現在の阿部家御当主は 13 代目 阿部正紘氏で、福山城築城 400 年事業推進企画委員会相談役を務められている。

FUKUYAMA IYOO
LIONS CLUB
55th

55年のあゆみ

1962-1966

結成式1962年7月11日

1 会長／三吉直右衛門　幹事／昼田 弘三　会計／高橋 英夫

それは昭和 37 年の春であった。しかし突然の発生ではなかった。福山ライオンズクラブのエキステンションによる熱いラブコールが再三、三吉直右衛門にかけられていたためであった。7 人の同志が集まった。その同志がまた仲間を誘った。32 名の結成式であったという。すでに力強い胎動を始めていた。全国 440 番目のライオンズクラブとして誕生したのである。そしてすでに結成されていた近隣のクラブへ見学に行くなど旺盛な行動力を示しはじめた。名を「葦陽」という。

12 月 2 日、当時の福山市公会堂においてチャーターナイトの式典が行われた。各地から 800 余名のライオンが祝福のために集まってきた。鷹取中学校の体育館で大懇親会は盛大であった。各地で続々とライオンズクラブが発足してゆくころである。

チャリティーショー（マヒナスターズ）

2 会長／藤井 紫郎　幹事／橘高 一彦　会計／佐野 光

「私は 62 分の 1 の会長である。諸君各自が会長になったつもりで積極的に福山葦陽ライオンズクラブの運営を担っていただきたい。」第 2 代藤井紫郎会長の就任の第一声であった。

当時駅前にあった福山公会堂は旧式の感をまぬがれないものであった。収容人員もせいぜい 1000 人位、後部座席の方ではトイレの臭気がするしろものであった。ここにマヒナスターズをよんでチャリティーショーを開く。これで得た事業収益を福山市に寄贈して 1 日も早く文化会館の建設がなされるよう市長に要望した。当時の市長徳永豊氏もその実現を確約した。わがクラブが出した市民会館建設のため寄付金第 1 号がその後の大きな原動力となった。

CN2周年記念に消防署へ広報車寄贈

3 会長／近藤 基珍　幹事／高橋 英夫　会計／山口 清

メンバーがそれぞれライオンズクラブの組織内容などが理解できるようになった。しかしながら会員間の理解が今一つという時期でもあった。活動するとき相互に感情が交わる、個人的対立が生まれるようなこともあった。こうしたことをのりきるために会員のディスカッションに時間を充分に使った。これが相互信頼の下に友愛の精神が宿る葦陽ライオンズクラブのカラーになった。「国際会則はライオンズクラブにとって憲法のようにまげることはできないが、メンバーのために会則や例会があるのであって、会則や例会のために会員がいるのではない。原点を忘れないクラブであるべき。」と近藤会長はいう。のびのびした創造力を持ち自律性のあるクラブに向って進んでいった。

福山城跡公園へ桜200本を寄贈

4 会長／佐藤 武男　幹事／井上 博　会計／高橋 正人

年次大会においてグッドスタンディング賞、グッドアイデア賞、出席 100% 賞の三つのアワードを初めて受賞する。しかしその間、クラブ内のコミュニケーションはよくなかったという。クラブ内の団結と融和を図るために各種の努力がくりかえされた。佐藤会長と井上博幹事は「日本一」のクラブを作ろうという合言葉でそれをのりこえていった。楽しい例会をつくりあげることと、かずかずのアクティビティーを精力的になしとげることは一つの解決方法であったろう。1966 年 3 月号のライオン誌全国版に 2 頁にわたる当クラブのアクティビティーの紹介がそれを語ってくれる。「まことに典型的な中堅優良クラブである、と。」勲五等瑞宝章に輝く佐藤会長はもういない。偉大なるライオンの創草期の活躍に敬意を表する。会報誌もこのとき生まれた。

1966-1970

5 会長／穂垣 秀人　幹事／瀬尾 定穂　会計／島田 千秋

メルビン・ジョーンズ氏がライオンズクラブをつくって 50 年がたった年である。福山葦陽ライオンズクラブもそれまでの試行錯誤の過程を経てやっと一人歩きができるようになった時期であった。福山中央ライオンズクラブのエキステンションがその大きな成果といえよう。そして第 14 回地区年次大会を福山の三クラブで主管したり、ライオンズクラブの創設 50 周年記念式典を三クラブ合同でするなど発展していった。会員のライオンズクラブに対する認識も一段と深くなっていった。日本鋼管の福山市への誘致などによって市の人口の増加してゆくころである。誕生した福山中央クラブは順調に発展をしていった。

福山中央LC.をエクステンション

6 会長／原　信　幹事／杉原 義章　会計／宇田 俊雄

チャーターナイト 5 周年にあたる年である。発足当時の手さぐりの状態から 5 年を経てやっとクラブの基盤ができてきたという記念の年になる。5 周年の記念誌の編集にあたっては、それまでの役員で退会者があったり事務員の交代で引継ぎが充分できていなかったりして思うようにならず、また 1 年毎の役員交代で各種の資料が散逸しており編集委員を悩ませたという。しかし 5 周年式典は華美に流れず心をひきしめてかかった。来賓とブラザークラブのメンバーを合せて 250 人位の参加者で行う。適当な規模で適当に楽しい意義あるチャーターナイト 5 周年式典であったという。このころ問題になっていた交通安全に対するアクティビティーに真剣に取り組み、会員の連帯意識が強く育ちはじめた。

福山警察署へ広報車寄贈

7 会長／平川 一正　幹事／畑田 敬夫　会計／松岡利一郎

ドイツ・バーデンバーデン市のライオンズクラブ会長ロベルト・シェファー会長と平川一正会長との文通がはじめる。6 周年記念に出席された徳永市長との歓談のなかから生れた動機であったが、当って砕けよと出した書翰に返事が来た。ずい分待たされた返事であったが、以来 20 通近い文通が 1 年余のあいだ続いた。そして当クラブ代表として第三副会長坂本六郎夫妻がバーデンバーデン・ライオンズクラブを親善訪問する。姉妹縁組の端緒をつくる。平川会長とシェファー会長は独文で私的に交流を暖め相互の信頼関係を保ったという。海洋少年団の結成を後援するなどめざましいアクティビティーを展開してゆく。

ドイツ・バーデンバーデンLC.親善訪問のためクラブ代表として坂本第三副会長夫妻が出発。

8 会長／高橋 正人　幹事／三好 一正　会計／松井 繁次

ライオンズクラブの活動的視野も国際性を持ったものでなくてはならない時期に入る。そうしたなかで、それまで行われていたバーデンバーデン・ライオンズクラブとの文通が両クラブの姉妹縁組締結という大きな次元にまで発展していった。国際関係委員長坂本六郎と杉原義章の活躍はすばらしい。1970 年 6 月 10 日両クラブの姉妹縁組を締結して記念式典をする。その後 7 月三村敏雄と高橋会長の代理として愛娘順子さんがバーデンバーデン・ライオンズクラブでの記念式典に出席する。事業収益委員会がこの年生まれた。また商工会議所から福山グランドホテルへクラブの事務局を移転させた記念すべき年である。

チャリティーバザール（備南美術家優秀作品展）

1970-1974

働く青少年論文コンテスト発表会

9 会長／高橋 英夫　幹事／奥野 信夫　会計／三好 清

「ライオンズクラブの存在意義は奉仕のためにあるのであって会員のためにあるのではない。」と高橋会長は信じた。ただ金銭的に余裕のある人たちの集団が、その財を放出するというだけでは、一方的で衝動的な恩恵をなす奉仕になってしまう恐れがある。地域住民の共感を呼び、そのなげかけた波紋が大きくなってより住みよく明るい社会になるよう動きだしてゆくような奉仕でなければならぬ、という運動へと進むべきだという考えであった。「働く青少年の論文コンテスト」「交通災害作文コンテスト」「新聞少年の表彰」「公害から住みよい社会を守る映写会」など地域住民への問題意識昂揚をはかるためにアクティビティーを展開した。

光寿園を慰問

10 会長／宇田 俊雄　幹事／松本 勲　会計／三藤 茂

「日本の明日を担う少年たちに海の生活を通して成長してもらいたい。それがやがてライオニズムの明日を担ってゆくだろう。」そうした思いをこめて海洋少年団にカッターを一艇、それの装置一式、楽器などを贈って彼らが活動できるように援助する。これがやがて福山葦陽少年クラブとなり後のレオクラブと発展してゆく。そしてその業績は 336 複合地区においても存在価値は高いといわしめるようになっていった。この時代、公害問題として、表面化してきた芦田川の水質検査にとり組んだり、ゾーン合同のアクティビティーとして「頼山陽」観劇に定時制高校生や、新聞少年を招待するなど新しい活動への動きが目につきだした。

福山葦陽少年クラブ結成 1972年11月26日

11 会長／岡田 登　幹事／布施 茂　会計／株本 光夫

福山葦陽ライオンズクラブ創立 10 周年の記念すべき年である。姉妹縁組をしている西ドイツのバーデンバーデン・ライオンズクラブ会長ハンスヴルツ夫妻が式典に参加される。そしてフルートによるカルテットを記念演奏された。それまでの国際交流による新しい世界が当クラブに花開いたといえるであろう。この年のもう一つの大切な行事はなんといっても葦陽少年クラブの結成ではなかろうか。日本の将来をになう少年たちに現代の松下村塾という場を与えようとするアクティビティーをしたのであった。それまでのアクティビティーとはちがう概念の世界ではあった。そこまでにいたる藤井紫郎ライオンの大きな働きも見のがせない。レオクラブ胎動のきざしがあらわれだしたころである。

ライオンズクラブ婦人の集い

12 会長／島田 千秋　幹事／頓行 琢志　会計／岡本 力

清掃作業の奉仕というアクティビティーがあるとしよう。しかし一歩進めて考えると、世の中の人たちが街をよごさないとしたら、このアクティビティーは無用である。とすると街をよごしても平気な人たちに街をよごさないようにする気持を持たせる運動をすることの方がより根源的なアクティビティーではなかろうか。島田会長は人々の「心の問題」にこそ今後のライオンズクラブの活動するエリアがあると考えた。世はまさに急変貌していた。価値観が多様化し、世の中は喧噪の度を深めていった。石油ショックで日本中の店頭から洗剤やトイレットペーパーが姿を消した時代である。心の分野へのアプローチこそ新しいライオニズムの波であろうと信じて努力した島田会長の年である。

1974-1978

13 会長／井上 博　幹事／株本 光夫　会計／高橋 伍一

ライオンズのスローガンのひとつである、「われわれの国の安全をはかる」ということの第一は次代をになう青少年の教育の在りかたを考えることである。教師の質についてはもとより、子供をあずけた親としても委せきりの放任でなく、わが子がどのように教育されているかを知ることが大切である、と井上会長は主張する。それまで手がけてきた葦陽少年クラブを発展させて福山レオクラブをスポンサーしてその結成式を主催したのである。“ We Serve ” の精神は単にアワードの獲得のためのものではなく、ライオンズクラブが地域の人たちとなにをなし得るかを真剣に考えるためのものであるという。収益事業として開かれたチャリティショーのブルガリアサーカスは未曾有の成績をあげた。

福山レオクラブ認証状伝達式 1975年3月

14 会長／杉原 義章　幹事／古川 芳文　会計／志田原正佐久

これまでに敷かれていた国際親善と、レオ育成の 2 本のレールへの路線の進行は好調であった。会員間の親睦をはかるためにもいろいろな方法がとられた。はだかでつきあうという意味で正月のサウナ風呂での例会など異例のやりかたも目をひいた。福山城跡公園で開かれた老人園遊会では、4000 人の老人を招いてのアクティビティーをくり拡げる。老人に楽しみと生き甲斐を、そして社会における役割を認識していただくための、世の中へのキャンペーンでもあった。この企画はその後ずっと続いて開催されている。国際委員会を主軸として姉妹縁組クラブ、ドイツのバーデンバーデン・ライオンズクラブへ訪問し縁組 5 周年の親善訪問をしたのも記念すべきことであった。

BB.LC.姉妹縁組5周年記念訪問使節団

15 会長／坂本 六郎　幹事／山本 泰陸　会計／桑田 耕作

第 7 代平川会長のとき当クラブの代表使節として、ドイツ・バーデンバーデンライオンズクラブへ親善訪問、第 14 代杉原会長のときの同クラブへの姉妹縁組 5 周年記念の訪問使節団としても参加した、国際親善に特に理解の深い坂本六郎会長の時代である。それはこの年カナダ・ハミルトン市との交流を深めたことでも表れている。すでにレオクラブの育成は軌道にのり 336 複合地区でも目をみはる活躍をするに至っていた。またライオニズムの拡大の大切な部分であるエキステンションとして、福山東ライオンズクラブを誕生させることにも成功する。福山東部地区に新しいライオンのともし火がともったのである。創立 15 周年をつぎの年にひかえ充実した各種の活動が展開されていった。

福山東 LC. をエクステンション 1976 年 10 月

16 会長／瀬尾 定穂　幹事／坪井 卓志　会計／唐川 正

西独バーデンバーデン LC よりの式典招待を受け、会長瀬尾夫妻、副会長の松本夫妻の 4 人で参加し、パリー LC・ラスタット LC、とも交歓を深め、友好の実を上げ又、東半球は、福山市が姉妹都市縁組をしているカナダ、ハミルトンセントラル LC、ウイリアム・アンス会長より正式議定書を受取った。日付は 6 月 30 日、記念日と定めた。5 月には、東京に於て第 16 回の世界大会が開かれ、初めて日本より村上薫第 3 国際副会長が選出され、特にバーデンのシュネール会長と再会し来福され、3 日間の行事に楽しく明け暮れした思い出は余りにも印象深い。又、我々の行った 15 周年の式典は、第 3 国際副会長村上薫を招き、「茶の心」即ち日本人の心について一般講演で正に地域住民と一体となった周年行事で、実にユニークな企画で好評であったと自負する次第です。

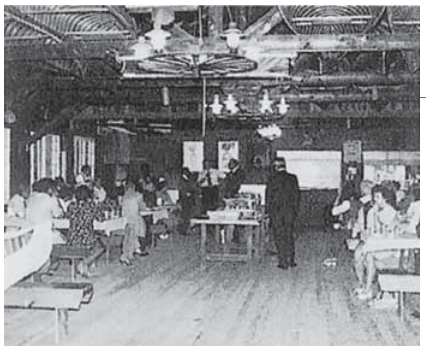
来福した BB.LC. の歓迎ディナーパーティー

1978-1982

第8回複合地区レオフォーラム

17 会長／松本 勲 幹事／青山 文彦 会計／向田 一馬

会員相互の融和と協調をはかり、バランスのとれた委員活動を望むということで発足した年でした。この年はレオで始まりレオで終ったような年でした。8月中旬には弥勒の里、研修センターに於て第8回レオフォーラム、第3回レオスクール（336複合地区）を挙行。レオとLを合せて500名余の大々的な行事をクラブ全員の御協力をいただいて成功させたことは今もなつかしく思い出されます。次に16周年記念講演会として11月下旬、市民教育委員会により高田好胤先生を招き、首題「日本人らしく」、副題「好ましい親子関係」のもと中央公民館にて500余名の一般聴衆に感銘を与えたことです。他に駅前大通りへの第1年目楠木植樹。ハミルトンよりの訪福ハミルトン少年団の接待等、国際交流にも十分の気をはいた本当に多忙な、実りの多い1年であった。


ハミルトン・セントラルLC. 親善訪問

18 会長／布施 茂 幹事／志田原正佐久 会計／坂本 一

姉妹縁組を結んでいるカナダ・ハミルトンセントラルLC.より、結成60周年式典への招待を受け、国際サービス委員会で評議の結果、高橋正人を団長として15名で出発した事が本年度の最大の行事であった。ヘンドリック会長以下多数の熱烈な歓迎を受け、山小屋風の例会場での交歓会は、大変心温まる有意義な集いであった。

また、YE学生を迎えての納涼家族例会をしたり、社会福祉基金募金の小柳ルミ子ショーを開催したり、新聞少年慰安ボーリング大会を企画したりの多忙な1年であった。

ライオンズ並木の清掃奉仕

19 会長／向田 一馬 幹事／尾熊 博司 会計／山本 泰陸

我がクラブから原がZC.に奥野がZCA.に就任し、クラブ内では向田会長のもとに、クラブの和、会員の意識、組織の問題等についての新しい模索が続いた。20周年を2年後に控えての静かな胎動である。それは、時代の背景に押し流されて行かねばならない運命的なものであったかもしれないが、その底流には、クラブをこよなく愛し、過去の輝かしい伝統を継承し世代をバトンタッチする諸々の努力があった。

葦陽LC. 献血会の集団献血

20 会長／長谷川 裕 幹事／津島 由明 会計／朝日 保

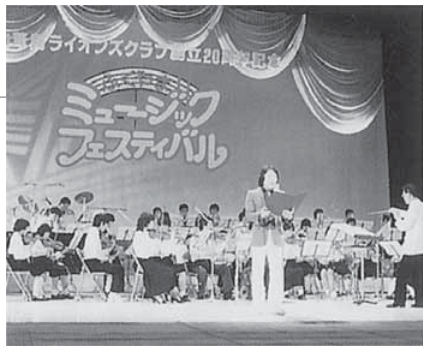
当年度で特記すべきことは、People at Peace（みんなできずこう和の社会）をテーマに颯爽と登場した村上薫国際会長の活躍である。聖徳太子が当時の外来文化を国内に導入し定着させるための統治理念として和を提唱したが、村上薫国際会長は日本人初の国際会長として、日本人の魂にふれる和の精神で多数国家間、他民族間を訪問し、相互の相違点を認め合いながら奉仕することの大切さを示したことは見事であった。

20周年を翌年に控え、理事会・委員会・例会等でクラブを愛し奉仕することへの、多くの意見が提出されたが、その方法については必ずしも全員一致ではなかった。意見の相違点を相互に認め合いながら協力して奉仕することにこそ一層の喜びの深まりを分け合うことができるのではなかろうか。

1982-1986

21 会長／株本 光夫　幹事／田村 敏治　会計／森島 忠昭

「みんなで成功させよう20周年」というスローガンでスタートしたこの年は、12月5日に向っての殺人的な煩忙に追いまわされた日々であった。それは「ゆとりと繁栄」というアイキャッチャーと、何と見事なパラドックスであったことか。しかし当日のミュージックフェスティバルには、民謡・歌謡曲・ホームソング・童謡・ニューミュージックの5ジャンルに479の作品が寄せられ、この壮挙に山本直純氏も手離しで激賞した。また高まりつつあった献眼運動の中で、20周年記念事業の一つとして、90名ものアイバンク登録も特筆すべきことであろう。

こうした事業を支えるための宝石・毛皮フェアーの開催や、青少年の育成事業、光寿園への慰問、婦人部の四国金毘羅参りと多彩な1年であった。

CN20周年記念ミュージックフェスティバル

22 会長／志田原正佐久　幹事／大谷 逸己　会計／山本 隆司

全力疾走で駆けた20周年の次の年は、成人式を済ませた大人のクラブとしての充電の一年であった。レオクラブ・ジュニアレオクラブ合同の府中牧場での夏期キャンプは楽しい想い出である。4回目を迎えた「福山葦陽LC献血会」も141名の協力を戴く成果をあげたが、本年の最大のアクティビティーはライオネスクラブの誕生であった。ゾーン内6クラブ合同の事業とは云え、実質的には瀬尾がその労を執った。前年度、3月にゾーン内での結成相談会を皮切りに、11月に説明会、そして1月19日、39名のメンバーをもって「福山ライオネスクラブ」が結成され、6月16日市民会館大ホールで認証状伝達式を行い、竹村健一氏の大講演会を開催した。地区内3番目のクラブである。

レオクラブ研修旅行

23 会長／三好 一正　幹事／瀬良 雅志　会計／藤井 勉

ライオンズクラブの奉仕は如何にあるべきか？物の奉仕から心の奉仕へ・・・何度討議されたテーマであろうか。それに対する一つの答がゾーン内合同アクティビティー「薬物乱用撲滅キャンペーン」ではなかったろうか。ZC・高橋正人を陣頭にして、華々しいキャンペーンが繰り展げられた。それと並行して本年度の大きな事業の一つは、新しいクラブのエキステンションであった。1月13日「福山ニューライオンズクラブ」の結成式を行い、5月15日認証状伝達式を挙行した。1Z内で7番目のクラブの誕生である。

また3月24日には、福山レオクラブC・N10周年、福山ジュニアレオクラブC・N7周年の記念式典並びに身障者招待親善ボーリング大会を行った。

福山ニューLC.チャーターナイト

24 会長／坪井 卓志　幹事／高橋 信好　会計／三谷 孝雄

薬害教育は前年に引続きゾーンの運動の大きな柱の一つであったが、糖尿病の啓蒙もまたその一つであった。我がクラブではビデオで、8月第二例会に「糖尿病とは」、2月第1例会に「糖尿病の食事療法」、4月第1例会に「糖尿病の合併症」を放映している。

例会を少しでも有意義にという試みで、多数の講師も招聘した。9月第2例会で「性格・相性判断」10月第1例会で「ワインあれこれ」、2月第2例会（ニューLC.と合同）では山中ガバナーをお招きして「今こそ日本人に帰れ」、4月第2例会で「検察審査会制度について」、5月第1例会で、「未来を開く歴史の目」等々の講演を開いた。また、10月30日、C・N23周年記念アクティビティーとして企画した「武田鉄矢と坂本竜馬を語ろう」の講演会は、武田氏の竜馬に対する思い入れが、ひしひしと伝わる想い出多いものであった。

交通遺児のためのチャリティーバザール

1986-1990

藤本義一氏講演会

25 会長／三村 敏雄 幹事／高田 穣 会計／前原 慈朗

本年度はガバナーに福山 LC. の石井淳が就任され、1Z は大変な年になった。地区年次大会、複合地区年次大会と二つの大きな大会をホストすることになったからである。10 月から数回に亘る準備会議が持たれ、4 月 26 日「第 33 回地区年次大会」が、5 月 31 日「複合地区第 33 回年次大会」がそれぞれ盛大裡に挙行された。

そうした中で事務局が 4 階から 3 階に移転し、以前より少しはゆとりが出来た。

次年度の大きなアクティビティーの伏線になる丸山茂樹氏の「県立歴史博物館建設」の例会講演も 3 月にあり、25 周年記念式典へ向けての胎動が始まった。4 月 5 ～ 12 日には、姉妹縁組をしているバーデン・バーデンライオンズクラブを会長他 8 名が親善訪問し、国際交流を深めた。

CN.25 周年記念パネルディスカッション

26 会長／頓行 琢志 幹事／森島 忠昭 会計／戸川 昇

C・N25 周年の節目の年に当り、西独 B・B.LC. より 2 人のゲストがあり、「フルートとピアノ二重奏の夕べ」は 25 周年の記念として予想を上回る盛況であった。

ライオンズの奉仕の原点を見つめ、模索して企画した今回の記念事業は、これまでの我がクラブの軌跡の延長にあり、今後の大きなテーマである「すこやかな老い」のパネルディスカッションは、そうした意味で大きな収穫であった。また、近々オープンする県立歴史博物館に史書を中心とした福山葦陽 LC.25 周年記念文庫を贈呈した。

高齢化社会対策講演会 早川一光先生

27 会長／田村 敏治 幹事／市川 卓治 会計／安部 福治

高齢化社会対策の一環として、早川一光先生の「ぼけない方法教えます」という講演会は、我がクラブの基本的な運動の軌跡の一つである。3 月にクラブがホストした地区のライオネスの合同のフォーラムは初めての試みであった。

4 月の地区大会で最優秀クラブ賞をガバナーズアワードとして受賞したことは、我がクラブのこうした活動の評価であった。

こころの歌コンサート

28 会長／板崎 哲文 幹事／藤井 勉 会計／村上 隆美

昨年に引き続き、早川先生の講演会「ぼけない方法教えます Part2」及び、糖尿病教育及び献腎講演会の開催は市民を対象とした大きな行事であったが、我がクラブが永年携わって来たレオの育成に関するアクティビティーが福山レオクラブ 15 年、福山ジュニアレオクラブ 12 年目で終結したことは、時代の大きな変化であろう。他方、永井ちよさんを中心とした会による中国路童謡作家の「こころの歌コンサート」はこれからの新しい活動を模索する第一歩であった。

1990-1994

29 会長／吉川 正通　幹事／服部 潤一　会計／行廣 満

本年度特筆すべきことは、カナダ・ハミルトン市の親善訪問であった。会長以下 10 名のメンバーが牧本福山市長一行と共に行き、姉妹縁組をしているハミルトン・セントラルライオンズクラブとの国際交流は、非常に意義深いものであり、今後の交流への大きな布石であった。突如世界中を震駭させた湾岸紛争の被災者の救護に 100 万円を拠出したことは我がクラブの基本的なポリシーによるアクティビティーである。巷間騒然とした世情にあって、高田好胤管主の「日本の心」講演は一服の涼風であった。

高田好胤師講演会

30 会長／野村 通誠　幹事／小林 珍樹　会計／三谷 孝雄

レオクラブ終結のあと、1 年の検討期間を経て我がクラブの新しいアクティビティーとして浮上したのが心のゆとりを求めての「音楽」であった。

スイス大使館の後援で開催した「オーケストリオ・チューリッヒ & 横山勝也演奏会」は県民文化ホールを満席にし、今後継続的に開催を予定している「コーラスフェスティバルふくやま '92」は幼稚園からママさんコーラス迄の 8 団体による出演で、大好評裡に初回を終えることが出来た。今年で 3 回目になる早川一光先生の講演も大盛況であった。

コーラスフェスティバルふくやま'92

31 会長／前原 慈朗　幹事／髙田 健司　会計／藤本 政則

30 年は人間で云えば立派な壮年である。チャーターメンバー 12 名は皆様健在でクラブの重鎮として、それぞれご活躍されている。今や 100 名を越す大きなクラブに成長出来たのも、この方々のご努力の賜ものです。

30 周年を記念するチャリティーコンサートは昨年の 5 月から福山市民合唱団を組織して、12 月 3 日市民会館にて 1300 名もの観客が集まり、大盛況であった。

またハミルトン LC からも代表を招き交流を深め、第二回コーラスフェスティバルも盛会裡に終わった。

こうした一連のアクティビティーで二度目の本年度地区最優秀クラブを受賞した。

CN30 周年記念大会

32 会長／市川 卓治　幹事／藤井 継道　会計／畑田 政輝

CN30 周年を盛大に成功裡に済ませた翌年の会長の基本テーマは「新たなる奉仕への第一歩」であった。100 人になんなんとするクラブにあって、本年度は、外より内に眼を向け、メンバー各個のライオニズムの高揚に重点を注ぎ、委員会活動を通じて、クラブの活性化を計った。その一つとして、例会資料に全員が誕生日月に雑感を書いて貰い、相互の理解の一助としたことも近来にない試みであった。

スタート直後の納涼例会は、サウンドオブセト号で船上例会を開き、大いに懇親の実を挙げた。9 月のハミルトン訪問団の派遣、11 月の市民講演会、2 月のコーラスフェスティバルとアクティビティーをこなして行く中で、次年次アジア大会へ向けての大きな課題が突然に出てくるといった多忙な 1 年であった。

納涼例会はサウンドオブセト号での船上パーティー

1994-1998

アジア大会を飾った花飾プランター

33 会長／日野　昇　幹事／佐藤 守男　会計／小川 治重

今から思えば、本年度の日野会長は、人生最後の情熱をライオンズに注ぎ込まれた。不治の病を抱えながら最後まで真摯に取り組まれた姿は、大いに見習わなければならない。

アジア大会のために我がクラブが寄贈した七千八百有余のプランターは、各会場を美しい花で飾り圧巻であった。

正月の屠蘇も醒めやらぬ1月、あの忌まわしい阪神大震災が起った。クラブでもゾーンと一体となって義援金を募り、神戸へ送った。その直後の別所毅彦氏の「仕事に生かす勝負の心」と題しての講演会は、聴衆に大きな感激を与えた。

特筆すべきは我がクラブで未経験であった献眼が、2月と5月に相ついであったことである。角膜・腎バンクとの関わり等貴重な体験であった。

また5月には姉妹提携をしているカナダ・ハミルトン・セントラル・ライオンズクラブの CN75 周年記念例会に5名を派遣した。

ハミルトン・セントラル LC への訪問団

34 会長／畑田 政輝　幹事／園部 将文　会計／寳諸 稔浩

歴史と伝統のある葦陽ライオンズクラブの第 34 代会長としての1年間、各役員の方々を始め、会員の皆様の絶大な御協力を頂き、大過なく努めさせて頂き、こに改めて厚く御礼を申し上げます。振り返って見ますと、初代会長三吉様、第2代会長藤井（紫）様、第3代会長近藤（基）様が例会に揃って出席して頂き、温かい激励や親切な御指導をして頂き、今でも有難い思い出として印象深く残って居ります。最近、特に地球の温暖化に伴う環境保護が叫ばれて居ります。私は自然と共生する考えを中心にしてスローガンを「自然にやさしく心の奉仕」とさせて頂きました。そして会員の皆様の努力と協力のお陰で、市体育館前にバラの花壇を寄贈することが出来ました。これも嬉しい思い出として残って居ります。又第5回コーラスフェスティバルふくやまではリーデンローズ一杯のお客様の前で老人大学の若々しい？皆様 300 人による“荒城の月”の大合唱が大変素晴らしく、胸にジーンと来るものが有り、今でも懐かしく思い出されます。

第 6 回コーラスフェスティバルふくやま

35 会長／髙田 健司　幹事／羽原 史朗　会計／岩瀬 典博

外に対しては誇りをもって接し、内に対しては和をもって接することが勤めと感じた一年である。ライオンズクラブの原点は地域社会への奉仕であると自覚し、子ども達の教育を視点にクラブ運営に全力投球をしました。すなわち国際化・情報化・高齢化・少子化といわれる現代社会において、子ども達が 21 世紀を希望を持って生きていける様に導くことは我々大人のつとめであります。心を同じくする地域の他団体と協調を図りつつ奉仕活動を行うことも今後のライオンズクラブの在り方であると思います。またクラブ運営は決して一人で出来るものでなく三役・五役・理事・委員会のコミュニケーションが一番大事であると同時に横断的には歴代会長会や終身委員会、フレッシュライオンズ会から自由な発想での意見や提案を求め、例会の充実を図る為、会員スピーチを多くして出席率の向上を図りドロップアウトの防止に細心の注意を払いました。

福山市国際交流員のサラ・ロビンズさんを例会に招いて

36 会長／服部 潤一　幹事／高橋 治彦　会計／真田 勝郎

新時代を3年後に控え 35 周年の節目を迎える中、日本経済は消費税 5% による後遺症に苦しんでいます。

しかしクラブ内では老・壮・青年の三世代が一致団結し 11 月 29 日の記念式典にスタートダッシュしています。

記念事業として「車椅子贈呈」「補聴器贈呈」「中学生サミット」を完了し式典当日は「国際交流」テーマ一色に成る様推進しています。

そして此の事業が「老・壮・青」との「市民」との「姉妹クラブ」とのア・ニュー・ブリッジ・ビトゥイーン（21 世紀への新しい架け橋）に成る事を念じています。

1998-2002

37 会長／村上 隆美　幹事／山崎 雅弘　会計／西江 透

バブル崩壊後低迷する経済状況下にあって、クラブ運営についても一工夫も二工夫も必要とする状況下にありますが、メンバー一同一致団結、会長方針の下「ウィ・サーブ」の精神を発揮してまいりました。特に本年度は国際交流事業にも注力してまいり種々のアクティビティもクリアーすることが出来たこと、メンバー一同喜んでいます。

第3回福山市中学生サミット
The 3rd Fukuyama Junior High School Students Council Summit.

38 会長／古川 芳文　幹事／岩瀬 典博　会計／中島 國博

長期化する経済環境の悪化と変化する社会情勢の中でクラブの充実と活性化を図り魅力ある運営と楽しい例会を目標に喜ばれる奉仕活動に取り組みます。青少年健全育成は将来の計画を見つめ直し第一回三世代交流トライアドコンサートの開催（入場1500名）、県東部地区第一回福山バスケットボールフェスティバル実施（参加1200名）し、青少年育成に密着したアクティビティは多くの市民より賞賛されました。国際交流はバーデンバーデンLC.CN30周年式典に参列(8名)大歓迎を受け、姉妹縁組として非常に意義の深い交流でした。環境保全は、合同アクティビティとして15クラブ参加芦田川源流植林事業を盛大に開催（参加25名）相互協力による地域最大の継続事業となりました。その他の奉仕活動は会員のご理解と友情で一年を乗り切る事ができました。

第1回トライアド･コンサート

39 会長／園部 将文　幹事／信森 泰臣　会計／井上阿佐雄

本年度は20世紀より21世紀にわたる過渡期に会ったが、会長スローガンである「二一世紀美しい故郷を子供達に贈ろう」を合い言葉に諸活動を実施し、それなりの成果があったものである。又カナダハミルトンセントラルクラブ結成80周年記念式典に参加をし、国際交流の実もあげることが出来たと考える。

大平光代記念講演

40 会長／羽原 史朗　幹事／石井 健治　会計／有安 英雄

戦争に次ぐ戦争に明け暮れた20世紀も終わり、希望に充ちた21世紀の到来を望んだのではありましたが、9月11日突然ニューヨークの世界貿易センタービルにてテロによる破壊が発生、瞬時に何千人という尊い人命が失われた年でした。我国では、国を挙げて教育改革論議が進められ、どのように子供達の「心」を育み、「生きる力」を育てていくかに集約され、その為には家庭・学校・地域が密接な連携を保っていくことが重要であることからも、「地域教育の担い手になろう」をスローガンに掲げました。アクティビティとして、子供達・保護者達・高齢者の皆さんと三世代交流事業として「トライアドコンサート」開催、並びに地方文化振興として「オーケストリオ･乙女文学･尺八本曲」による「スーパー･ジョイント･コンサート」開催が印象に残った一年間でした。

スーパージョイント・チャリティーコンサート

2002-2006

舞の海秀平記念講演

41

会長／**山崎 雅弘**　幹事／**吉川 通泰**　会計／**佐藤 英明**

CN40 周年にあたる今年度は我がクラブより初めて髙田ガバナーを輩出し、キャビネットを組み 11 名の地区役員が出向出来ました事が最高の奉仕でありました。CN40 周年式典には 6 名のチャーターメンバーも在籍、出席されて改めて諸先輩の築かれてまいりました輝かしい伝統と実績に感謝いたします。特に日本国内では稀なドイツ、バーデン・バーデンライオンズクラブとは 32 年間、カナダ、ハミルトン・セントラルライオンズクラブとは 25 年間の永きにわたり国際交流が継続されてまいりました事に敬服いたし、今後さらに友好関係が続くことを確信しております。

A HAPPY NEW YEAR 2004.1.7 FUKUYAMA IYOO LIONS CLUB BY FUKUYAMA HACHIMANGUU

42

会長／**山崎 雅弘**　幹事／**藤井　恵**　会計／**的井 善美**

地域と青少年に夢のある奉仕

今年度は 40 年の節目を越え、「地域と青少年に夢のある奉仕」のスローガンのもと、メインアクティビティとして皆で汗をかく奉仕活動をしようと「熊ヶ峰」の登山口広場を 3 年計画で整備し、憩いの森に復活させて市民の皆様に喜んで利用される場所にと、手作りでスタートしました。全会員の協力により見違えるほどきれいになり、4 月には桜の花の下で例会を開くことができました、また 3 月 3 日の第一例会は丁度「桃の節句」と 1000 回記念例会日にあたり、多数のブラザークラブ会員とライオンレディの参加のもと華やかに開催され思い出の残る例会となりました。また長年にわたり利用してきた事務局が無くなり、新しい場所に移り運営方法も大きく変わる激動の年でした。

43

会長／**井上阿佐雄**　幹事／**栗山 則博**　会計／**伊藤 重富**

みんなのこころと全員参加で地域奉仕

2004 ～ 2005 年の一年間、会長として勤めさせて頂きましたが、その間の会員の皆様方のご支援・ご協力に対して深く感謝申し上げます。任期の終わりにかけて、バーデンバーデン LC を親善訪問しました事も忘れえぬ思い出として、脳裏に刻まれています。終わりにあたり、ドイツバーデンバーデン LC 会員、カナダハミルトン LC の会員皆様方と、ご家族の皆様方のご健勝とご繁栄を心よりお祈りいたします。

44

会長／**岩瀬 典博**　幹事／**髙橋 啓之**　会計／**平木 累司**

故郷に 輝くいのち 健やかに

－ 世界の子どもたちの健やかな成長を願って－

「輝くいのち 健やかに」を会長スローガンに全員が一丸となって奉仕させていただいた一年でした。日々生かされていることに感謝し、できることから奉仕させていただきました。月 2 回の例会を楽しい集いとし、各委員会活動を活発に行っていただきました。お陰さまで国際協調賞を受賞できました。又、今年度は 2 名の女性会員を含む 10 名の新会員をお迎えし、会員内に新風をふかしていただきました。これからも笑顔を忘れず元気に、現在の私たちの幸福の 10% を社会にお返しできたら何とすばらしいことでしょう。皆でライオンズライフを楽しみながら、これからも幸福な社会となるよう頑張ってまいりましょう。

2006-2010

45 会長／小川 治重　幹事／玉井 孝雄　会計／佐藤 賢一

先達（せんだつ）に学ぼう奉仕の輪

―音楽とスポーツを通して青少年の育成を―

伝統ある福山葦陽ライオンズクラブが続けてきた44年にわたる奉仕活動に学びながら、更なる奉仕活動を。の願いのもと、会長スローガンとして「先達に学ぼう奉仕の輪」をかかげての一年間の活動をさせていただきました。何よりも大きなアクティビティは、第1回（1991年）～第8回（1998年）までつづいてきた「ふくやまコーラスフェスティバル」が、2007年1月21日（日）に参加28団体、出演者人数1600余名を得て復活開催できたことです。「出演させてもらってありがたかった」「また、来年もお願いしますね」等々、老人会等の出演者からたくさんの感謝の便りをいただきました。2年続けて訪問したバングラデシュの学校建設、学資の黒板・学用品の運搬。「国が貧しいとは、いかなるものか」を目にし、この国が富んでいく根本は教育でしかないと思いました。私達の奉仕活動が少しでもバングラデシュの子供達の教育向上に役立てればと思いました。山崎L、岩崎Lから「奉仕とは何か？」を教えてもらいました。玉井幹事、佐藤会計の懸命な支えをいただき、大過なく任務をまっとうできました。感謝申し上げます。

46 会長／吉川 通泰　幹事／布施 茂雄　会計／藤代 昭治

温故知新の奉仕

―美しい伝統の継承と新しい時代の創造へ―

創立45周年を迎えた本年は、我クラブの奉仕の歴史を再考する年となりました。

先輩の歩まれた道を振り返り、これから進むであろう次世代への活動に思いを致すことこそ今の我々に一番必要なことです。

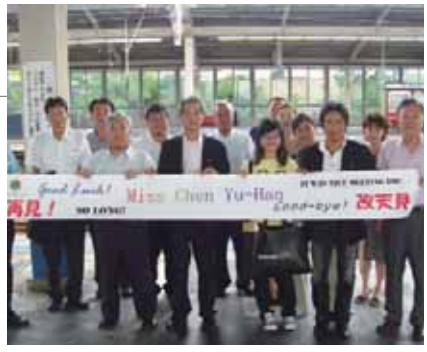
「不易流行」はクラブの奉仕活動にも必ず必要なものと確信いたしました。

47 会長／的井 善美　幹事／丸山 孝志　会計／新田 潤一

楽しい例会、心をひとつに奉仕の輪を広げよう

クラブ設立45周年の後で、また更に大きな節目となる50周年へ向けての新たなスタートの年でした。クラブ諸行事は元より、会員一丸となる為にまず「例会をいかに楽しくするか」を重視し、諸先輩方が築き上げられたクラブの伝統を重んじて1年間活動いたしました。

48 会長／藤井 恵　幹事／瀬良 直哉　会計／島田 斉



歴史と伝統に感謝・さらなる成長！

我がクラブの歴史と伝統に感謝し、今期すぐに国際交流委員会にてYEのMiss Chen Yu-Hanさんを迎え、福山市長表敬訪問などを行い、日本の文化・貴重な体験をしていただきました。また青少年育成にてバスケットボール大会はもちろんの事、今年度は特に社会問題になっている薬物問題「薬物乱用防止教室」を小学校で開き薬物の恐ろしさを知って貰いました。一年を通じ会員皆様と一緒に汗を流す奉仕活動に取り組むことができました。

2010-2012

49 会長／玉井 孝雄 幹事／森島 敏晴 会計／瀬川 尚秀

今こそ広げよう！奉仕の輪 仲間の輪

「50 年近く続いた福山葦陽ライオンズクラブの伝統と重みを感じながら、人を大切にし物に固執せず、より良き社会へと貢献したい」このテーマを柱として活動した一年でありました。また、運営費をまかなうために会費の値上げを会員の皆様にお願いした経緯もあり、全会員のご協力をいただいて新会員の獲得に力をいれなければならない１ 年でした。事業につきましては、下記に掲げたとおりでございますが、諸先輩方の築かれた事業を継続し、社会貢献させていただきました。年度の最後に「優秀クラブ賞」がいただけましたことに会員一同の努力と協力に改めて感謝いたします。

50 会長／島田 斉 幹事／吾川 茂喜 会計／高田 信吾

跳　飛

―兎のように跳ね 龍のように飛ぶ―

会長スローガンは今年と来年の干支に因んで「跳飛」としました。東日本大震災の影響で元気のない日本にライオンズ活動を通じてエネルギーを発信したいとの思いでしたが、このスローガンを掲げることで仕事においても自分自身が励まされる結果となりました。

東日本大震災に対しては、シスタークラブであるドイツのバーデンバーデン LC から1,250,000 円の義援金が寄せられ、特定非営利活動法人 AMDA を通じて「東日本大震災国際奨学金」として被災地の高校生に支給しました。又、クラブからは福島の NPO 法人移動保育プロジェクトに対して 525,000 円寄付を行いました。

最大のトピックスは「第 25 回ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト」において水呑小学校の平田沙葉さんが地区ガバナー賞を受賞し、地区年次大会式典で表彰されたことです。このような栄誉を与えて頂いたことに深く感謝申し上げます。

51 会長／栗山 則博 幹事／箕嶋 陽一 会計／野田 時宏

『獅子奮迅』今こそ行動！

―未来に向かって築く奉仕の絆―

CN50 周年記念大会を迎える半世紀に一度の記念すべき年でした。

私たちをご支援頂いた皆様に真に感謝申し上げるとともに会員全員の心で記念事業・記念大会に臨みました。

温故知新 伝統を重く感じながら、会員の絆で新しいスタートラインに立ち社会奉仕事業に取り組みました。

55年のあゆみ

52 会長／髙橋 啓之　幹事／廣川 雅満　会計／小林 和浩

スローガン

例会を大切にし、文化的奉仕を推進する

グッドスタンディングな友を増やそう！

前年度はCN50周年という大きな節目の一年でした。今年度は次の50年への再出発ということでサブスローガンを「グッドスタンディングな友を増やそう!」としました。お蔭さまでその年は4名の新会員が誕生しました。
クラブとして東日本大震災直後より放射能被曝から子どもたちを守るNPO法人移動保育プロジェクトへ支援を続けていました。
あれから3年“東北を忘れない”というテーマのもとクラブから7名（1人はメンバーの奥様）が東北を訪れ移動保育プロジェクト、被災地等を巡りながら、復興はまだ道半ばだということを目の当たりにしました。
また恒例の「ライオンズ国際平和ポスターコンテスト」において深津小学校の高橋菜生さんが地区大会で最優秀賞を授与され親子ともども大変喜ばれた姿に接したことなど、楽しい1年であったことを感謝しております。

主なアクティビティ

2013年7月～2014年2月	「薬物乱用防止教室」開催
2013年9月、12月、2014年4月	熊ヶ峰ひろば清掃
2013年10月	ライオンズ国際平和ポスターコンテスト
2013年10月	福山市立大学留学生への育英奨学金支給
2013年11月	社会福祉法人若菜支援
2014年2月	バングラデシュIYOO校支援
2014年2月	ふくやまコーラスフェスティバル
2014年3月	福山葦陽ライオンズ記念カップ、献血

この年の役員と委員

役　員

会　長	髙橋　啓之	副会計	倉田　　貴	理　事	吾川　茂喜
前会長	栗山　則博	LT	佐藤　　賢	理　事	高田　信吾
第一副会長	布施　茂雄	副LT	伊藤　彰英	理　事	吉川　通泰
第二副会長	瀬良　直哉	TT	尾熊　　功	理　事	的井　善美
幹　事	廣川　雅満	副TT	上川　真二	理　事	箕嶋　陽一
副幹事	柏原　　弘	会員理事	玉井　孝雄		
会　計	小林　和浩	理　事	藤井　継道		

地区関係

地区名誉顧問　髙田　健司

平成 25 年 -26 年

2013-2014

委　員　会

運営委員会

会員・会則・指導力育成委員長	玉井　孝雄	財務・出席・大会派遣委員長	森島　敏晴
情報 PR・資料保存・IT 委員長	延平　典嗣	計画・大会委員長	横山　光昭

事業委員会

青少年育成・環境保全・保健福祉・ライオンズクエスト委員長	伊藤　彰英	国際交流・LCIF 委員長	島田　斉
社会奉仕・献眼・献血・献腎委員長	上川　真二		

特別委員会

事業収益委員長	瀬川　尚秀

55年のあゆみ

53 会長／布施 茂雄 幹事／柏原 弘 会計／倉田 貴

スローガン

愛と友情と感謝の笑顔で We Serve

奉仕の原点を学ぶ

スローガンを 愛と友情と感謝の笑顔で We Serve ー奉仕の原点を学ぶー としました。
２０１４～２０１５年度は、地区ガバナーがゾーン内から輩出され、又 ZC が福山葦陽ライオンズクラブから輩出されている中での、クラブ運営となりました。
クラブ内の運営と事業の他に、地区大会の式典担当クラブ、ゾーンの合同例会担当クラブとして多忙な1年間を送りました。
ゾーン内の各クラブの協力に、友情と感謝を熱く感じ、奉仕活動の原点をしっかり学んだ1年間となりました。

主なアクティビティ

2014年7月～2015年2月	「薬物乱用防止教室」開催
2014年9月	広島市大規模土砂災害義捐金
2014年10月	ライオンズ国際平和ポスターコンテスト
2015年1月	社会福祉法人若菜支援
2015年2月	バングラデシュ IYOO 校支援
2015年2月	ふくやまコーラスフェスティバル
2015年3月	福山葦陽ライオンズ記念カップ、献血
2015年4月	東北復興支援事業「移動保育プロジェクト ポッケア」支援

この年の役員と委員

役　員

会　長	布施　茂雄	副会計	佐藤　賢	理　事	的井　善美
前会長	髙橋　啓之	LT	伊藤　彰英	理　事	箕嶋　陽一
第一副会長	瀬良　直哉	副 LT	横山　光昭	理　事	山崎　雅弘
第二副会長	森島　敏晴	TT	上川　真二	理　事	羽原　史朗
幹　事	柏原　弘	副 TT	松岡　慶典	理　事	廣川　雅満
副幹事	延平　典嗣	会員理事	島田　斉		
会　計	倉田　貴	理　事	吉川　通泰		

地区関係

地区名誉顧問	髙田　健司	336-C 地区キャビネット副幹事	栗山　則博
336-C 地区 2R.1Z.ZC	玉井　孝雄	336-C 地区会則・運営マニュアル委員	箕嶋　陽一

平成 26 年 -27 年

2014-2015

委　員　会

運営委員会

会員・会則・指導力育成委員長	島田　斉	財務・出席・大会派遣委員長	高田　信吾
情報 PR・資料保存・IT 委員長	佐藤　賢	計画・大会委員長	山本　周三

事業委員会

青少年育成・環境保全・保健福祉・ライオンズクエスト委員長	瀬川　尚秀	国際交流・LCIF 委員長	小林　和浩
社会奉仕・献眼・献血・献腎委員長	平木　累司		

特別委員会

事業収益委員長	藤村　誠

55年のあゆみ

54 会長／森島 敏晴　幹事／延平 典嗣　会計／佐藤 賢

スローガン

「笑顔と温かさを伝えたい」We Serve

現在位置確認

本年より、ゾーン編成が1R 3Z になり、10 クラブのゾーンになりました。福山葦陽 LC も 50 周年を経過し、100 周年を目指し、今まで諸 先輩が築かれた伝統と重みを大切にしながら新たな気持ちで取り組みたいと各アクテビティを実施いたしました。準備不足のなかスタートいたしましたが、1 年を通し様々な経験をさせていただき有難うございました。
全会員のご理解とご協力のもと奉仕活動を行えたこと感謝申し上げます。
世の中では、日銀のマイナス金利導入、清原元プロ野球選手の逮捕、熊本大地震発生、燃費偽装問題、オバマ大統領広島訪問、ノーベル賞日本人ダブル受賞など良いこと悪いこと含めて様々な出来事があった 1 年でした。当クラブも奉仕活動を通じ全世界が明るい未来になることを祈っております。

主なアクティビティ

2015年7月～2016年2月	「薬物乱用防止教室」開催、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金協力
2015年7月、10月、2016年4月	熊ヶ峰ひろば清掃
2015年8月	第31回ローズカップミニバスケットボール交歓大会協賛
2015年10月	ライオンズ国際平和ポスターコンテスト
2016年1月	ふくやまコーラスフェスティバル
2016年2月	バングラデシュIYOO校支援
2016年3月	盲導犬支援事業 福山ハーネスの会支援
2016年3月	福山葦陽ライオンズ記念カップ、献血

この年の役員と委員

役　員

会　長	森島　敏晴	副会計	前田　　修	理　事	髙橋　啓之
前会長	布施　茂雄	LT	横山　光昭	理　事	倉田　　貴
第一副会長	廣川　雅満	副 LT	平田　茂基	理　事	服部　潤一
第二副会長	高田　信吾	TT	松岡　慶典	理　事	箕嶋　陽一
幹　事	延平　典嗣	副 TT	伊藤　彰英	理　事	柏原　　弘
副幹事	小林　和浩	会員委員長	栗山　則博		
会　計	佐藤　　賢	理　事	山崎　雅弘		

地区関係

地区名誉顧問　　髙田　健司

平成 27 年 -28 年

2015-2016

委　員　会

運営委員会

会員・会則・指導力育成（GMT・GLT）委員長　栗山　則博
PR・ライオンズ情報・IT 委員長　畑田　直毅
財務・出席・大会派遣・平和・アラート委員長　野田　時宏
計画・大会委員長　上川　真二

事業委員会

青少年育成・ライオンズクエスト委員長　瀬川　尚秀
社会奉仕・環境保全・保健福祉委員長　前田　康光
国際交流・YCE・LCIF 委員長　山﨑　匡

特別委員会

事業収益委員長　平田　茂基

55年のあゆみ

55

会長／**廣川 雅満**　幹事／**小林 和浩**　会計／**前田 修**

スローガン

「未来に向かって」We Serve

建康で明るく楽しくかっこよく

アクティビティはYCE派遣と受入を同時に行った他は例年通りでした。例会では陸上自衛隊の一宮連隊長による熊本震災等における活動のご講演、新年例会でのビンゴオークション、福山城散策及び福寿会館洋館における花見例会と史上初のお庭をライトアップしながらの懇親会、都（春日）での最終夜間例会、その他板崎先生の在籍50年お祝い会や100人参加のカープ応援ツアー等新しい事にチャレンジした楽しい一年でした。また栗山ZCお疲れ様でした。

主なアクティビティ

2016年7月	夏期YCE来日学生受け入れ
2016年8月	夏期YCE学生派遣
2016年9月～2017年2月	「薬物乱用防止教室」開催、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金協力
2016年9月	福山市立大学留学生への育英奨学金支給
2016年10月	ライオンズ国際平和ポスターコンテスト
2017年1月	ふくやまコーラスフェスティバル
2017年3月	福山葦陽ライオンズ記念カップ、献血

この年の役員と委員

役　員

会　長	廣川　雅満	副会計	横山　光昭	理　事	玉井　孝雄
前会長	森島　敏晴	LT	平田　茂基	理　事	柏原　弘
第一副会長	高田　信吾	副LT	畑田　直毅	理　事	島田　斉
第二副会長	箕嶋　陽一	TT	伊藤　彰英	理　事	山崎　雅弘
幹　事	小林　和浩	副TT	前田　康光	理　事	延平　典嗣
副幹事	瀬川　尚秀	会員委員長	髙橋　啓之		
会　計	前田　修	理　事	服部　潤一		

地区関係

地区名誉顧問	髙田　健司	336-C地区大会参加・平和・アラート委員	箕嶋　陽一
336-C地区1R・3Z・ZC	栗山　則博		

平成 28 年 -29 年

2016-2017

委　員　会

運営委員会

会員・会則・指導力育成（GMT・GLT）委員長　髙橋　啓之
PR・ライオンズ情報・IT 委員長　横山　光昭

財務・出席・大会派遣・平和・アラート委員長　柏原　弘
計画・大会委員長　佐藤　賢

事業委員会

青少年育成・ライオンズクエスト委員長　延平　典嗣
社会奉仕・環境保全・保健福祉委員長　村上　勝利

国際交流・YCE・LCIF 委員長　上川　真二

特別委員会

事業収益委員長　山﨑　匡
CN55 周年準備委員長　髙田　健司

56年目の活動

56 会長／高田 信吾　幹事／瀬川 尚秀　会計／横山 光昭

スローガン

伝統と革新

誇りあるクラブへ

歴史と伝統を誇る福山葦陽ライオンズクラブは今年で５５周年を迎えます。
その記念すべき年に会長という大役を仰せつかり、「伝統と革新　誇りあるクラブへ」というスローガンのもと、まずは先達の方々の築き上げて来られた偉大なる歴史と伝統に感謝の気持ちと敬意を表し、クラブを現代のニーズにマッチしたスタイルに華麗に進化させていきたいと思っております。
変革や革新と言うと、いつの時代も、どの世界も必ずアレルギーや抵抗はつきものです。勇気と誇りをもって革新して行きたいと思っております。

主なアクティビティ

2017年8月	第33回ローズカップミニバスケットボール交歓大会協賛
2017年7月、10月、2018年3月	熊ヶ峰ひろば清掃、桜の植樹
2017年8月	福山市立大学留学生への育英奨学金支給
2017年10月	ライオンズ国際平和ポスターコンテスト
2017年10月～2018年2月	「薬物乱用防止教室」開催、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金協力
2017年12月	CN55 周年記念例会

この年の役員と委員

役　員

会　長	高田　信吾	副会計	藤村　　誠	理　事	島田　　斉
前会長	廣川　雅満	LT	畑田　直毅	理　事	延平　典嗣
第一副会長	箕嶋　陽一	副 LT	村上　勝利	理　事	栗山　則博
第二副会長	柏原　　弘	TT	山﨑　　匡	理　事	髙橋　啓之
幹　事	瀬川　尚秀	副 TT	野田　時宏	理　事	小林　和浩
副幹事	上川　真二	会員委員長	森島　敏晴		
会　計	横山　光昭	理　事	山崎　雅弘		

地区関係

地区名誉顧問	髙田　健司

平成 29 年 -30 年
2017-2018

委　員　会

運営委員会

会員・会則・指導力育成（GMT・GLT）委員長　森島　敏晴　　計画・大会委員長　緒方　重樹
財務・出席・ライオンズ情報・MC・大会派遣委員長　延平　典嗣

事業委員会

青少年育成・ライオンズクエスト委員長　村上　勝利　　国際交流・平和・アラート・YCE・LCIF 委員長　伊藤　彰英
社会奉仕・環境保全・保健福祉委員長　玉井　孝雄

特別委員会

事業収益委員長　藤村　誠　　CN55 周年実行委員長　髙田　健司

歴代地区役員一覧

年　度	地　区	役員名
1967 ～ 1968	1R.1Z.ZC	三吉 直右衛門
	1R.1Z.Z 幹事	井上　博
1970 ～ 1971	1R.1Z.ZC	藤井　紫郎
1975 ～ 1976	地区レオ委員長	藤井　紫郎
1976 ～ 1977	1R.1Z.ZC	近藤　基珍
	1R.1Z.Z 幹事	瀬尾　定穂
1977 ～ 1978	1R.DDG	藤井　紫郎
1978 ～ 1979	地区レオ委員	瀬尾　定穂
1979 ～ 1980	地区レオ・ライオネス委員	島田　千秋
1980 ～ 1981	1R.1Z.ZC	原　信
	1R.1Z.ZCA	奥野　信夫
	地区レオ・ライオネス委員	島田　千秋
1981 ～ 1982	地区 YE・国際協調委員	杉原　義章
1982 ～ 1983	地区レオ・ライオネス委員	瀬尾　定穂
1983 ～ 1984	地区レオ・ライオネス委員	瀬尾　定穂
1984 ～ 1985	1R.1Z.ZC	高橋　正人
	1R.1Z.ZCA	田村　敏治
	地区レオ・ライオネス委員	瀬尾　定穂
1985 ～ 1986	地区環境保全・薬害教育・糖尿病教育委員長	向田　一馬
1986 ～ 1987	地区 PR・ライオンズ情報委員長	島田　千秋
	複合地区年次大会委員長	藤井　紫郎
	複合地区ガバナー協議会事務局事業部長	岡田　登
1988 ～ 1989	地区LCIF・アクティビティーレオ・ライオネス委員長	瀬尾　定穂
1989 ～ 1990	1R.1Z.ZC	高橋　英夫
	1R.1Z.ZCA	瀬良　雅志
1990 ～ 1991	1R.RC	向田　一馬
	1R.RCA	髙田　健司
	地区年次大会実行委員長	高橋　正人
	地区キャビネット副幹事	市川　卓治
	地区YE・国際協調委員	広中　義明
	複合地区年次大会委員長	島田　千秋
	広島県アイバンク協会理事	市川　卓治
1991 ～ 1992	地区献眼・献血・献腎委員長	頓行　琢志
	広島県アイバンク協会理事	頓行　琢志
	広島県アイバンク協会理事	市川　卓治
1992 ～ 1993	広島県アイバンク協会理事	市川　卓治
1994 ～ 1995	6R.1Z.ZC	市川　卓治
	6R.1Z.ZCA	藤井　継道
	地区レオ・ライオネス・LCIF 平和委員長	三好　一正
1996 ～ 1997	地区2R環境保全委員	山本　隆司
1997 ～ 1998	地区 YE・国際協調委員	(倉田　文夫) 藤本　政則
1998 ～ 1999	2R.1Z.ZC	三好　一正
	地区ライオネス・LCIF平和委員長	髙田　健司
1999 ～ 2000	2R.RC	髙田　健司
	地区会員・会則・エクステンション・指導力育成委員	藤井　継道
2000 ～ 2001	地区保健福祉・青少年指導委員長	羽原　史朗
2001 ～ 2002	副地区ガバナー	髙田　健司
	キャビネット副幹事	山崎　雅弘
	キャビネット副会計	服部　潤一
	地区 PR・ライオンズ情報・大会参加委員長	岩瀬　典博

年　度	地　区	役員名
2001 ～ 2002	2R献眼・献血・献腎・アイヘルス委員	高橋　治彦
2002 ～ 2003	地区ガバナー	髙田　健司
	地区キャビネット幹事	羽原　史朗
	地区キャビネット会計	市川　卓治
	地区キャビネット副幹事	服部　潤一
	地区キャビネット副幹事	山崎　雅弘
	地区キャビネット副幹事	村上　隆美
	地区キャビネット副幹事	三好　一正
	地区キャビネット副幹事	岩瀬　典博
	地区キャビネット副会計	小川　治重
	地区 PR・ライオンズ情報・IT・大会参加委員長	信森　泰臣
	地区年次大会副委員長	古川　芳文
	地区年次大会委員	有安　英雄
	地区年次大会委員	井上　阿佐雄
2003 ～ 2004	前地区ガバナー	髙田　健司
	2R.1Z.ZC	古川　芳文
	2R地区LCIF・ライオネス・平和委員	山下　剛三
2004 ～ 2005	元地区ガバナー（地区名誉顧問）	髙田　健司
	336-C地区監査委員	市川　卓治
	2R地区青少年育成・レオ・薬物乱用防止・保健福祉委員	石井　健治
2005 ～ 2006	地区名誉顧問	髙田　健司
	336-C地区監査委員	羽原　史朗
	2R地区環境保全委員	藤井　恵
2006 ～ 2007	地区名誉顧問	髙田　健司
	2R地区PR・ライオンズ情報・IT・大会参加委員	服部　潤一
2007 ～ 2008	地区名誉顧問	髙田　健司
	336-C 地区 2R.RC	服部　潤一
2008 ～ 2009	地区名誉顧問	髙田　健司
	地区キャビネット副幹事	服部　潤一
	地区 2R.1Z.ZC	山崎　雅弘
	2R 地区会則・運営マニュアル・LCIF 委員	栗山　則博
2009 ～ 2010	地区名誉顧問	髙田　健司
	2R地区環境保全・保健福祉委員	髙橋　啓之
2010 ～ 2011	地区名誉顧問	髙田　健司
	地区会員増強・指導力育成（MERL）委員長	吉川　通泰
2011 ～ 2012	地区名誉顧問	髙田　健司
	2R地区会員増強・指導力育成（GMT・GLT）委員	布施　茂雄
2012 ～ 2013	地区名誉顧問	髙田　健司
	2R地区情報PR委員	瀬良　直哉
2013 ～ 2014	地区名誉顧問	髙田　健司
2014 ～ 2015	地区名誉顧問	髙田　健司
	2R.1Z.ZC	玉井　孝雄
	キャビネット副幹事	栗山　則博
	2R 地区会則・運営マニュアル委員	箕嶋　陽一
2015 ～ 2016	地区名誉顧問	髙田　健司
2016 ～ 2017	地区名誉顧問	髙田　健司
	1R.3Z.ZC	栗山　則博
	1R 地区大会参加・平和・アラート委員	箕嶋　陽一
2017 ～ 2018	地区名誉顧問	髙田　健司

歴代三役一覧

代	年代		
	会長	幹事	会計
1	1962～1963		
	三吉　直右衛門	昼田　弘三	高橋　英夫
2	1963～1964		
	藤井　紫郎	橘高　一彦	佐野　光
3	1964～1965		
	近藤　基珍	高橋　英夫	山口　清
4	1965～1966		
	佐藤　武男	井上　博	高橋　正人
5	1966～1967		
	穂垣　秀人	瀬尾　定穂	島田　千秋
6	1967～1968		
	原　信	杉原　義章	宇田　俊雄
7	1968～1969		
	平川　一正	畑田　敬夫	松岡　利一郎
8	1969～1970		
	高橋　正人	三好　一正	松井　繁次
9	1970～1971		
	高橋　英夫	奥野　信夫	三好　清
10	1971～1972		
	宇田　俊雄	松本　勲	三藤　茂
11	1972～1973		
	岡田　登	布施　茂	株本　光夫
12	1973～1974		
	島田　千秋	頓行　琢志	岡本　力
13	1974～1975		
	井上　博	株本　光夫	高橋　伍一
14	1975～1976		
	杉原　義章	古川　芳文	志田原　正佐久
15	1976～1977		
	坂本　六郎	山本　泰陸	桑田　耕作
16	1977～1978		
	瀬尾　定穂	坪井　卓志	唐川　正
17	1978～1979		
	松本　勲	青山　文彦	向田　一馬
18	1979～1980		
	布施　茂	志田原　正佐久	坂本　一
19	1980～1981		
	向田　一馬	尾熊　博司	山本　泰陸
20	1981～1982		
	長谷川　裕	津島　由明	朝日　保
21	1982～1983		
	株本　光夫	田村　敏治	森島　忠昭
22	1983～1984		
	志田原　正佐久	大谷　逸己	山本　隆司
23	1984～1985		
	三好　一正	瀬良　雅志	藤井　勉
24	1985～1986		
	坪井　卓志	高橋　信好	三谷　孝雄
25	1986～1987		
	三村　敏雄	高田　穣	前原　慈朗
26	1987～1988		
	頓行　琢志	森島　忠昭	戸川　昇
27	1988～1989		
	田村　敏治	市川　卓治	安部　福治
28	1989～1990		
	板崎　哲文	藤井　勉	村上　隆美

代	年代		
	会長	幹事	会計
29	1990～1991		
	吉川　正通	服部　潤一	行廣　満
30	1991～1992		
	野村　通誠	小林　珍樹	三谷　孝雄
31	1992～1993		
	前原　慈朗	髙田　健司	藤本　政則
32	1993～1994		
	市川　卓治	藤井　継道	畑田　政輝
33	1994～1995		
	日野　舜	佐藤　守男	小川　治重
34	1995～1996		
	畑田　政輝	園部　将文	寶諸　稔浩
35	1996～1997		
	髙田　健司	羽原　史朗	岩瀬　典博
36	1997～1998		
	服部　潤一	髙橋　治彦	真田　勝郎
37	1998～1999		
	村上　隆美	山崎　雅弘	西江　透
38	1999～2000		
	古川　芳文	岩瀬　典博	中島　國博
39	2000～2001		
	園部　将文	信森　泰臣	井上　阿佐雄
40	2001～2002		
	羽原　史朗	石井　健治	有安　英雄
41	2002～2003		
	山崎　雅弘	吉川　通泰	佐藤　英明
42	2003～2004		
	山崎　雅弘	藤井　恵	的井　善美
43	2004～2005		
	井上　阿佐雄	栗山　則博	伊藤　重富
44	2005～2006		
	岩瀬　典博	髙橋　啓之	平木　累司
45	2006～2007		
	小川　治重	玉井　孝雄	佐藤　賢一
46	2007～2008		
	吉川　通泰	布施　茂雄	藤代　昭治
47	2008～2009		
	的井　善美	丸山　孝志	新田　潤一
48	2009～2010		
	藤井　恵	瀬良　直哉	島田　斉
49	2010～2011		
	玉井　孝雄	森島　敏晴	瀬川　尚秀
50	2011～2012		
	島田　斉	吾川　茂喜	高田　信吾
51	2012～2013		
	栗山　則博	箕嶋　陽一	野田　時宏
52	2013～2014		
	髙橋　啓之	廣川　雅満	小林　和浩
53	2014～2015		
	布施　茂雄	柏原　弘	倉田　貴
54	2015～2016		
	森島　敏晴	延平　典嗣	佐藤　賢
55	2016～2017		
	廣川　雅満	小林　和浩	前田　修
56	2017～2018		
	高田　信吾	瀬川　尚秀	横山　光昭

神戸東灘マリーンライオンズクラブとの姉妹クラブ提携経過（あゆみ）

年	あ ゆ み
1995年(平成7年)	1月17日に発生した阪神淡路大震災の義捐金を、この時のZC（当時336-C地区　6R.1Z）は我がクラブの市川と福山久松LC棗田会長二人で、2月11日に神戸東灘地区（335-A・1BR・3Z）のZC羽間さん（神戸東灘LC）に神戸に赴き270万円を手渡しする。これが福山葦陽LCと神戸東灘マリーンLCとの交流の始めでした。 10月　神戸布引ハーブ園の風の丘震災モニュメント除幕式に参加
2012年(平成24年)	3月　神戸東灘マリーンLCの植樹（二十の杜）造成事業に10名参加 12月　福山葦陽LC、CN50周年記念事業として、これまでの友好クラブから姉妹クラブ締結の調印式を行う　神戸東灘マリーンLCより13名招請 50周年記念式典と祝賀会に13名招請
2014年(平成26年)	11月　神戸東灘マリーンLC、CN30周年記念事業のチャリティゴルフ大会に15名参加 12月　福山葦陽LC、CN52周年記念例会に7名を招請
2015年(平成27年)	3月　神戸東灘マリーンLC、CN30周年記念例会に17名参加 12月　福山葦陽LC、CN53周年記念例会に5名を招請
2016年(平成28年)	3月　神戸東灘マリーンチャリティゴルフ大会に9名参加 10月　神戸東灘マリーンLCチャリティゴルフ大会に8名参加

バーデンバーデン・ライオンズクラブとの姉妹縁組提携経過（あゆみ）

バーデンバーデン
LCラベルピン

年	あ ゆ み
1968年（昭和43年）	7代平川一正会長の時、外国クラブと交流を行うという方向が決められ、バラの苗木が縁となり、バーデン・バーデン LC ロベルトシェファー会長に打診を行う。
1969年（昭和44年）	ロベルトシェファー博士より歓迎の手紙を受け取る。当クラブを代表として坂本六郎夫妻（第 3 副会長）が訪独にてお互いの理解を得る。
1970年（昭和45年）	6月10日　高橋正人会長の時、ドイツ大使館オスターホルン領事隣席にてグランドホテルに於いて調印式を行う。 7月24日　三村敏雄と高橋正人会長の代理として愛娘順子さんの 2 名がバーデン・バーデン LC にて調印式を行う。 来賓　日本大使／甲斐文彦閣下夫妻・佛国大使（代）／ジョルジュプラン領事・ヴェルテンベルグ州議会議長／カミーユ・ヴルツ・温泉観光総裁／ドクトルマイエル・トゥペルント・111 地区ガバナー／ウベルト・モッテル・デプティ・ガバナー／オイゲン・ガイエル ◆両クラブとも 7 月 1 日を共通の締結記念日とする。
1972年（昭和47年）	福山葦陽 LCCN10 周年記念式典に、ハンスブルツ会長夫妻が参加され、フルートによるカルテットを記念演奏された。
1976年（昭和51年）	5月　姉妹縁組 5 周年記念に杉原義章会長（合計 22 名）がバーデン・バーデン LC を公式訪問、熱烈な歓迎を受ける。 ［杉原義章夫妻、坂本六郎夫妻、高橋正人夫妻、岡田登夫妻、岡本力夫妻、三村敏雄、佐藤武男、瀬尾定穂、笹田嘉昭、桑田耕作、松岡利一郎、三島驥志郎、三島令息 2 名、佐藤令息 1 名、岡田知人 2 名］

▲ 1969 年／ドイツ・バーデンバーデン LC. 親善訪問のためクラブ代表として坂本第三副会長夫妻が出発。

▲ 1970 年 6 月 10 日／ドイツ・バーデンバーデン LC. と姉妹縁組締結

▲ 1972 年／CN10 周年記念式典に参加された BB.LC. 会長ハンスブルツ夫妻

▲ 1978 年／来福した BB.LC. の歓迎ディナーパーティー

▲ 1987 年／ BB.LC.CN30 周年親善訪問

▲1992年／バーデンバーデン室内オーケストラ（平成4年12月1日 於県民文化センターふくやま 指揮／ヴェルナー・シューティーフェル=BB.LC.メンバー）

年	あ ゆ み
1977年(昭和52年)	10月　バーデン･バーデン LCCN20 周年に瀬尾定穂会長夫妻、松本勲副会長夫妻参加し、パリ･ラスタット LC とも交歓を深める。
1978年(昭和53年)	6月　シュネル博士夫妻、ブルガード博士夫妻他 5 名が来福し、盛大な歓迎パーティーを行う。
1980年(昭和55年)	6月　姉妹縁組 10 周年式典に、バーデン・バーデン LC に於いて、吉野駐独大使臨席のもと三村敏雄夫妻が出席する。
1987年(昭和62年)	4月　バーデン・バーデン LC、CN30 周年に三村敏雄会長（合計 9 名）が参加する。 [三村敏雄、近藤基珍（団長）、穂垣秀人、瀬良雅志、株本光夫、田村敏治、小林茂美、鳥居幸正、鳥居（令嬢）俊栄]
1988年(昭和63年)	6月　バーデン・バーデン LC メンバー及び家族 21 名が来福。 大いに歓迎し、懇親を深める事が出来た。
1992年(平成4年)	12月　福山葦陽 LCCN30 周年記念式典にバーデン・バーデン室内オーケストラにより演奏、その指揮者ヴェルナーシュティーフェル氏並びにエバートシュネレ博士を迎える。 ◆バーデン・バーデン市長からの記念品を受ける。
1997年(平成9年)	5月　バーデン・バーデン LCCN40 周年記念式典に田村敏治団長（合計 10 名）が参加する。 [田村敏治夫妻、三村敏雄、倉田文雄夫妻、渡邊徳三、西藤愼治夫妻、特別参加者福山 LC 小林政夫夫妻]
2000年(平成12年)	6月　姉妹縁組 30 周年式典に、園部将文団長（合計 11 名）が参加する。 [園部将文夫妻、三村敏雄夫妻、服部潤一夫妻、藤井継道夫妻、西藤愼治、島田斉夫妻]
2002年(平成14年)	12月　福山葦陽 LCCN40 周年記念式典にラッペン会長が出席される。
2005年(平成17年)	6月　姉妹縁組 35 周年式典に、井上阿佐雄団長（合計 12 名）が参加する。 [井上阿佐雄夫妻、三村敏雄夫妻、山崎雅弘夫妻、岩瀬典博夫妻、山下剛三、倉田智子、奈良木紀美恵]
2006年(平成18年)	創立 50 周年記念式典公式訪問9名
2012年(平成24年)	バーデン・バーデン LC から東日本大震災の義捐金 125 万円をクラブを通して AMDA に寄贈

2011 年 3 月 24 日、バーデン・バーデン LC Thomas Hertweck 前会長より東日本大震災への義捐金の申し出がありました。「効果が被災者に直接及ぶプロジェクトに寄付したい。」とのご希望でしたので医療ボランティア AMDA を紹介したところ、総額 125 万円が寄せられました。
義捐金は AMDA 東日本大震災国際奨学金の中に「バーデン・バーデン LC 奨学金」の枠を設け、被災地で医療を目指す高校生 1 名につき、年間 18 万円の奨学金を 2 年間支給する内容で 3 名の奨学生に支給されました。

▲ 1997 年／ BB.LC.CN40 周年式典に参加

▲ 1976 年／姉妹縁組 5 周年記念に BB.LC 訪問

年	あ ゆ み
2012年(平成24年)	12月　福山葦陽 LC、50 周年記念式典と祝賀会に、111-SN 地区　バーデン・バーデン LC から Dr.med.Oliver.Barsom　MR.Marius.Schrombgens　Mr.Daniel.Sprafke 3 名招請 50 周年記念式典の中で姉妹クラブ代表挨拶を、Dr.Oliver.Barsom からいただく
2014年(平成26年)	9月　福山葦陽 LC メンバーの島田斉夫婦と通訳1人で、バーデン・バーデン LC のメンバー Dr. ラッペンの長男ヨハネス君の結婚式に出席 バーデン・バーデン LC のメンバーとの交流を深めてくる バーデン・バーデン LC のメンバーへ漆塗りの夫婦箸のお土産を渡す
2016年(平成28年)	8月　福山葦陽 LC のメンバー小林和浩の長男航希さん YCE 派遣でドイツ連邦共和国のミュンヘンのホストファミリーの元で約 20 日間過ごす 事前に、バーデン・バーデン LC の Dr.Oliver.Barsom と連絡を取り合う

ハミルトン･セントラルライオンズクラブとの姉妹縁組提携経過（あゆみ）

葦陽･ハミルトン
ラベルピン

年	あ　ゆ　み
1974年(昭和49年)	福山市、カナダ･ハミルトン市姉妹都市縁組調印式に、使節団員として福山葦陽 LC から近藤基珍、佐藤武男参加。
1976年(昭和51年)	11月　ハミルトン市､福山市縁組相互調印式に参列。使節団員にハミルトン･セントラル LC 会長チャタレン夫妻参加。 当 LC を表敬訪問、友好を深める。使節団員マグマスター大学政治学部長プリングスハイム教授の LC 交流に付いて多大な協力、支援があった。
1977年(昭和52年)	6月30日　当 LC 会長坂本六郎より、ハミルトン・セントラル LC に姉妹縁組提携を打診する書簡を郵送する。 9月26日　ハミルトン・セントラル LC 姉妹縁組議定書（英文、日本文）プリングスハイム教授を通じて届けられる。 10月 8 日　議定書受領。姉妹縁組盟約書諸手続きに入る。瀬尾定穂、佐藤公三議定書受領。以後の手続きに付いて詳細の打合せに、ハミルトン・セントラル LC を訪問する。
1978年(昭和53年)	10月14日　53 年度福山市親善都市交流使節団に、団長として杉原義章、副団長瀬尾定穂、両夫人同伴で参加。ハミルトン・セントラル LC を表敬訪問。
1979年(昭和54年)	10月　ハミルトン・セントラル LC チャーターナイト 60 周年記念式典に参列要請あり。会長・布施茂（合計 15 名）参加。［布施茂、高橋正人夫妻（団長）、井上博、長谷川裕、岡田登、近藤基珍、朝日保夫妻、原 信、稲垣秀人夫妻］
1988年(昭和63年)	63 年度福山市親善都市交流使節団に、会長・田村敏治（合計 12 名）参加。ハミルトン・セントラル LC 例会、リジョン、市役所、商工会議所を表敬訪問する。［田村敏治夫妻、松本勲夫妻、前原慈郎夫妻、株本光夫、水川豊昭、鳥居幸正、渡邊徳三、一町正則］

▲1990年／ハミルトン･セントラルLC.への親善訪問使節団

▲ 1976年／ハミルトン･セントラルLC.チャタレン会長歓迎会

▲ 1992 年 12 月／当クラブの CN35 周年式典にデビットテイト会長他 7 名の訪問

▲ 1979 年／ハミルトン・セントラル LC. 訪問

▲ 1993 年／盲目のハミルトン・セントラル LC. 会長ビル・ブラウンズ氏

▲ 1988 年 9 月の訪問団

年	あ ゆ み
1990年(平成2年)	10月　平成2年度福山市親善都市交流使節団に、会長･吉川正通（合計7名）参加。ハミルトン･セントラルLC例会、市役所、商工会議所を表敬訪問する。[吉川正通、田村敏治夫妻、畑田政輝、實諸稔浩、服部潤一、渡邊徳三]
1992年(平成4年)	11月～12月　当LCチャーターナイト30周年記念式典に、ハミルトン･セントラルLC会長デビットテイト、会計ウィリーコープ、理事ケンホワイトが外通訳共7名を招請する。 数日間の記念行事他、福山近郊、文化施設、製鉄所等視察する。各分野の懇談会をする。
1993年(平成5年)	平成5年度福山市親善都市交流使節団に、会長・前原慈朗（合計5名）参加。ハミルトン・セントラルLC例会、市役所表敬訪問。[前原慈朗、株本光夫、草原昭喜、髙田健司、(田村令息)] 5月　ハミルトン・マンダリジェイション25周年記念に交流都市福山として招請され、国際サミットに出席、ハミルトン・セントラルLC例会に表敬訪問する。[渡邊徳三]
1995年(平成7年)	5月　ハミルトン・セントラルLCチャーターナイト75周年記念式典に参列招請により、会長・畑田政輝、市川卓治（前会長)、田村敏治夫妻、安部福治参加。
1996年(平成8年)	7月9日　平成8年度福山市親善都市交流使節団に、田村敏治夫妻、渡邊徳三参加。ハミルトン市政施行150周年、親善都市提携20周年行事に参加。ハミルトン・セントラルLC例会、日本人会館基金持参する。当LCチャーターナイト35周年に参列招請する。
1997年(平成9年)	11月　我がクラブのCN35周年にビル・カミング、ボブ・セムコウ夫妻4名が来福。
2000年(平成12年)	10月　ハミルトン・セントラルLCチャーターナイト80周年記念式典に参列要請あり。古川団長以下ライオン6名、ライオンレディー2名計8名にて式典に参列。同時にハミルトン市長を市長舎に表敬訪問し、三好福山市長よりのメッセージを提出した。
2006年(平成18年)	5月　ハミルトン・セントラルLC、CN85周年記念式典に岩瀬典博夫妻・丸山孝志夫妻の4名が参列した。福山市長からハミルトン市長への親書を提出した。

▲2000年10月／ハミルトン・セントラルLC、CN80周年の記念式典会場

▲2000年10月／古川団長とハミルトン・セントラルLCマリー・マン・マクレーン会長

Bob and Pat Semkow
961 Dunsmure Road,
Hamilton, Ontario
L8H 1J3

Oct. 29th, 2017

Greetings to President Shingo Takata
And Members of Fukuyama Iyoo Lions Club.

A short note, Pat and I would like to take our personal opportunity to give our Congratulations to You and Your Club Members on 55th Anniversary of Fukuyama Iyoo Lions Club.
Hoping you continue your good work for many years to come.

All our Best,

Sincerely,

Lion Bob and Pat Semkow
905-545-9923
robert.semkow@sympatico.ca

▲ハミルトンセントラルLCメンバーからの55周年お祝いメール

▲1993年5月／渡邊徳三と三好章福山市長

▲1995年5月／ハミルトン・セントラルLCの75周年に参加した時の朝食会

▲1996年7月の訪問団

物故会員

謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 L. 赤木　勇
昭和37年10月入会
昭和37年10月28日逝去

故 L. 内海 正彦
昭和37年7月入会
昭和39年1月18日逝去

故 L. 池田 幾男
昭和37年10月入会
昭和41年1月15日逝去

故 L. 小林 淳三
昭和37年10月入会
昭和43年12月16日逝去

故 L. 北村 貴保
昭和37年10月入会
昭和48年2月28日逝去

故 L. 守屋　靖
昭和37年7月入会
昭和51年5月21日逝去

故 L. 佐藤 武男
昭和37年10月入会
昭和52年6月12日逝去

故L.山村 武瑠
昭和47年10月入会
昭和53年7月21日逝去

故 L. 奥野 信夫
昭和40年10月入会
昭和56年9月4日逝去

故 L. 堀内 信夫
昭和48年10月入会
昭和60年10月7日逝去

故 L. 志田原 正佐久
昭和37年10月入会
昭和62年9月28日逝去

故 L. 高橋 伸好
昭和48年4月入会
昭和63年12月25日逝去

故 L. 穂垣 秀人
昭和37年7月入会
平成元年1月25日逝去

故 L. 高田　穣
昭和47年10月入会
平成4年2月8日逝去

故 L. 鳥居 幸正
昭和57年3月入会
平成4年10月11日逝去

故 L. 吉川 正通
昭和55年10月入会
平成7年2月12日逝去

故 L. 日野　舜
昭和55年3月入会
平成8年1月21日逝去

故 L. 瀬良 雅志
昭和54年10月入会
平成9年3月6日逝去

故 L. 藤井 紫郎
昭和37年7月入会
平成9年7月18日逝去

故 L. 長谷川 裕
昭和45年10月入会
平成9年10月20日逝去

故 L. 坂本 六郎
昭和37年10月入会
平成10年10月21日逝去

故 L. 今川 啓三
昭和58年3月入会
平成12年6月26日逝去

故 L. 三吉 直右衛門
昭和37年7月入会
平成12年11月18日逝去

故 L. 倉田 文雄
昭和55年10月入会
平成13年7月17日逝去

故 L. 伊藤 重富
平成4年入会
平成21年3月29日逝去

故 L. 畑田 政輝
昭和63年入会
平成22年3月9日逝去

故 L. 古川 芳文
平成4年入会
平成23年10月17日逝去

故 L. 新田 潤一
平成16年入会
平成24年9月9日逝去

故 L. 前原 慈朗
昭和53年10月入会
平成27年2月14日逝去

故 L. 瀬良 直哉
平成16年3月入会
平成27年5月25日逝去

故 L. 尾熊　功
平成17年7月入会
平成28年11月14日逝去

FUKUYAMA IYOO
LIONS CLUB

55th

会員紹介

Aoyagi Atsushi
青柳　厚
入会 2017年7月
㈱ベッセル
福山ニューキャッスルホテル
執行役員・宴会部支配人

Itazaki Tetsufumi
板崎　哲文
入会 1967年3月
板崎外科
院長

Ito Akihide
伊藤　彰英
入会 2010年8月
㈱備南建材社
代表取締役

Iwase Norihiro
岩瀬　典博
入会 1990年3月
㈱ダイショク
代表取締役会長

Ohata Takuya
大畑　拓也
入会 2017年4月
大畑事務所
代表者

Ogata Shigeki
緒方　重樹
入会 2017年1月
㈱緒方塗装
代表取締役社長

Ogawa Harushige
小川　治重
入会 1990年10月
税理士法人おがわ会計
代表社員

Kashiwabara Hiroshi
柏原　弘
入会 2008年3月
㈱山福瀬戸内青果センター
代表取締役社長

Kamikawa Shinji

上川　真二

入会 2012年2月

㈲上川組

代表取締役

Kawakami Noboru

川上　昇

入会 1981年10月

㈱川上製作所

代表取締役

Kurata Takashi

倉田　貴

入会 2003年5月

倉田米穀㈱

代表取締役社長

Kuriyama Norihiro

栗山　則博

入会 1994年10月

㈲ウィンテック

代表取締役

Kobayashi Kazuhiro

小林　和浩

入会 2008年3月

㈱鈴鹿建設

代表取締役

Sato Hideaki

佐藤　英明

入会 1993年3月

佐藤相互建設㈱

代表取締役会長

Shimada Hitoshi

島田　斉

入会 1998年3月

福山電業㈱

代表取締役社長

Segawa Naohide

瀬川　尚秀

入会 2003年7月

ソニー生命保険㈱

ライフプランナー

Sonobe Masafumi
園部　将文
入会 1987年11月
㈲むらかみ
代表取締役

Takada Kenji
髙田　健司
入会 1986年11月
カバン･バッグ白牡丹 代表
福山市議会議員

Takata Shingo
高田　信吾
入会 2004年3月
㈱虎屋本舗
代表取締役社長

Takahashi Keishi
髙橋　啓之
入会 1998年8月
㈲髙橋啓之設計事務所
代表取締役

Tamai Takao
玉井　孝雄
入会 2002年6月
㈱広江
部長

Tamura Toshiharu
田村　敏治
入会 1966年3月
タムラ産業㈱
代表取締役会長

Nakagawa Tetsukichi
中川　哲吉
入会 1986年3月
中川哲吉法律事務所
所長

Noda Tokihiro
野田　時宏
入会 2005年7月
㈲エステートのだ
代表取締役

Nobuhira Yoshitsugu

延平　典嗣

入会 2010年8月

誠和建設㈱

代表取締役

Hatada Naoki

畑田　直毅

入会 2013年12月

㈱福山工作所

代表取締役

Hattori Junichi

服部　潤一

入会 1980年3月

服部電池㈱

代表取締役会長

Hirokawa Masamitsu

廣川　雅満

入会 2007年6月

㈲備後アルミ建材

代表取締役

Fujii Tsugumichi

藤井　継道

入会 2006年4月

㈱一瓢組

代表取締役会長

Fujimura Makoto

藤村　誠

入会 2006年1月

ニコニコ観光㈱

取締役常務

Fujiwara Nobuhiro

藤原　庸弘

入会 2017年7月

丸新㈱

代表取締役

Maeda Osamu

前田　修

入会 2004年11月

㈲ガーデンマンション

代表取締役

Matsuura Munekazu

松浦　宗和

入会 2010年11月

㈲マツウラ

代表取締役

Matsuoka Yoshinori

松岡　慶典

入会 2013年8月

瀬戸産業㈱

代表取締役

Matoi Yoshimi

的井　善美

入会 1989年3月

大成工業㈱

代表取締役

Minoshima Yoichi

箕嶋　陽一

入会 2004年3月

丸誠自動車㈱

代表取締役

Mimura Toshio

三村　敏雄

入会 1962年10月

㈱ミムラ時計店

相談役

Murakami Katsutoshi

村上　勝利

入会 2014年9月

アクトメディカル㈱

代表取締役社長

Morishima Toshiharu

森島　敏晴

入会 2004年3月

㈱アポレックス

代表取締役

Yamasaki Tadashi

山﨑　匡

入会 2014年8月

㈲山﨑建工

取締役

Yamasaki Masahiro

山崎　雅弘

入会 1990年10月

シーリング･カラー･センター

Yokoyama Mitsuaki

横山　光昭

入会 2012年11月

㈱横山企画

専務取締役

Yoshikawa Michiyasu

吉川　通泰

入会 1996年3月

福山八幡宮

宮司

CN55周年実行委員会 組織表

CN55周年実行委員長
髙田　健司

理事会
会長	高田　信吾	副会長(第一)	箕嶋　陽一
幹事	瀬川　尚秀	副会長(第二)	柏原　弘
会計	横山　光昭	副幹事	上川　真二
		副会計	藤村　誠

チャーターメンバー
三村　敏雄

顧問
板崎　哲文　園部　将文
山崎　雅弘　服部　潤一

終身会員
田村　敏治　小川　治重
岩瀬　典博

大会副委員長
吉川　通泰

記念式典部会
部会長　栗山　則博
副部会長　延平　典嗣

委員
中川　哲吉
佐藤　英明
倉田　貴
松岡　慶典
大畑　拓也
青柳　厚

記念懇親部会
部会長　玉井　孝雄
副部会長　廣川　雅満

委員
前田　修
上川　真二
横山　光昭
青柳　厚

大会副委員長
藤井　継道

記念事業部会
部会長　島田　斉
副部会長　小林　和浩

委員
藤村　誠
松浦　宗和
山﨑　匡
緒方　重樹
藤原　庸弘

大会副委員長
的井　善美

記念誌部会
部会長　髙橋　啓之
副部会長　柏原　弘

委員
川上　昇
伊藤　彰英
畑田　直毅
村上　勝利

総務部会
部会長　森島　敏晴
副部会長　箕嶋　陽一

委員
田村　敏治
岩瀬　典博
小川　治重
野田　時宏

各部会紹介

記念式典部会

部会長
栗山　則博

副部会長
延平　典嗣

委　員
中川　哲吉

委　員
佐藤　英明

委　員
倉田　貴

委　員
松岡　慶典

委　員
大畑　拓也

委　員
青柳　厚

記念懇親部会

部会長
玉井　孝雄

副部会長
廣川　雅満

委　員
前田　修

委　員
上川　真二

委　員
横山　光昭

委　員
青柳　厚

記念事業部会

部会長
島田　斉

副部会長
小林　和浩

委　員
藤村　誠

委　員
松浦　宗和

委　員
山﨑　匡

委　員
緒方　重樹

委　員
藤原　庸弘

記念誌部会

部会長
髙橋　啓之

副部会長
柏原　弘

委　員
川上　舜

委　員
伊藤　彰英

委　員
畑田　直毅

委　員
村上　勝利

総務部会

部会長
森島　敏晴

副部会長
箕嶋　陽一

委　員
田村　敏治

委　員
岩瀬　典博

委　員
小川　治重

委　員
野田　時宏

編　集　後　記

1962 年 7 月 21 日に 32 名で結成した福山葦陽ライオンズクラブは本年 CN55 周年を迎えました。We Serve の心で我がクラブの歴史と伝統を築き素晴らしい足跡を残された先輩諸兄に感謝申し上げます。

CN55 周年の記念事業では、福山市の「福山城築城 400 年記念事業」の一環として水野勝成公と阿部正弘公の甲冑の複製を市へ寄贈し、模型福山城と「福山歴史展」の事業に協賛いたしました。

福山城は日本の 100 名城のひとつであり別名葦陽城とも呼ばれています。

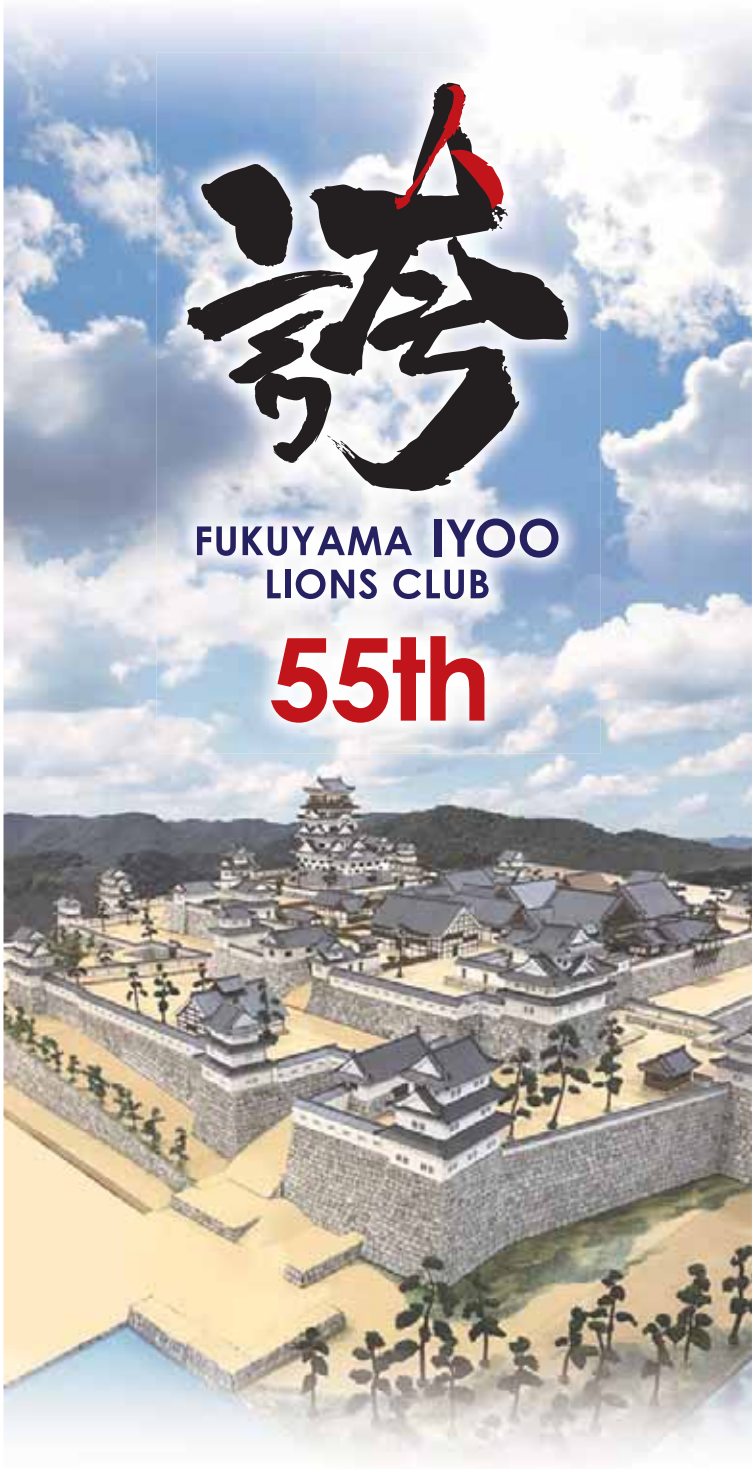
葦陽の名を冠した我クラブは CN55 周年のテーマを「誇」と掲げました。福山の歴史と文化を未来の子供たちに伝えるための「甲冑」と「模型福山城」は、福山に愛着を持ち、郷土の誇りに繋がる大きなツールになると信じております。

また、「築城 400 年を迎える福山城について」というテーマで、枝広福山市長と高田会長の対談を行い、その折、当クラブの先輩達が 53 年前、福山城址公園へ桜を 200 本寄贈したことが判明しました。

まさに記念誌編集を通じて在りし日の先達の熱き心に触れることができ、誇らしくも、嬉しく思いました。

最後になりますが、この記念誌にご寄稿頂きましたご来賓の皆様をはじめ関係者様各位に心より感謝申し上げますと共に、校正には充分留意致しておりますが、万が一失礼がございました際はご容赦賜りますようお願い申し上げます。

記念誌部会長　髙橋　啓之


FUKUYAMA IYOO
LIONS CLUB
55th

福山葦陽ライオンズクラブ
55周年記念誌

発　行

平成 29 年 12 月 2 日
福山葦陽ライオンズクラブ

〒720-0066　福山市三之丸町 8-16
福山ニューキャッスルホテル
Tel 084-973-0330　Fax 084-973-0331

FUKUYAMA IYOO LIONS CLUB

55th Anniversary

SINCE 1962